FUJIFILM

BL01619-101 **JA**

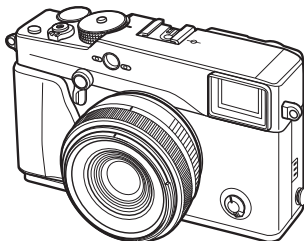
DIGITAL CAMERA

X-Pro1

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ X-Pro1 の使い方、および付属ソフトウェアのインストール手順がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

はじめに
撮影の準備
撮影する
いろいろな撮影機能
再生する
メニューを使いこなす
画像をテレビで見る
画像をパソコンに転送する
画像をプリントする
カメラで使えるアクセサリー
お取り扱いにご注意ください
困ったときは
資料

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

X-Pro1 スペシャルサイト
http://fujifilm-x.com/x-pro1/

はじめに

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（📖 123）をお読みください。

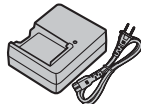
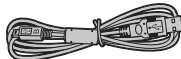
3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-W126（1 個）

- バッテリーチャージャー BC-W126（1 式）

- ボディキャップ（1 式）

- 専用 USB ケーブル（1 本）

- ストラップリング（2 個）

- ストラップリング取り付け補助具（1 個）

- CD-ROM（1 枚）

- ストラップリングカバー（2 枚）
- ショルダーストラップ（1 本）
- 視度補正レンズ（本体装着済み、1 個）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

こんな時に使いたい機能一覧 ➡ 4

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときに参照してください。

目次 ➡ 7

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

トラブルシューティング /FAQ 129

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

警告表示 ➡ 136

画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

用語の解説 ➡ 140

カメラに関する専門用語を解説しています。

各撮影モードで使用できる機能について ➡ 142

撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。

索引 ➡ 148

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

画面のイラストについて

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- このカメラは、光学ファインダー（OVF）、電子ビューファインダー（EVF）、液晶モニター（LCD）を装備しています。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■ レンズの着脱したいとき
レンズを取り付ける............20
レンズを取り外す............20

■ 撮影に関する設定をしたいとき
光学ファインダーで撮る............29
パワーコントロールシステムを設定する............32
セルフタイマーを使って撮影する............53

■ 画像の記録に関する設定をしたいとき
画像サイズを変更する............85
画質モードを変更する............86
RAW 画像を撮影する............66
撮影する画像の色空間を設定する............104

■ フォーカスに関する設定をしたいとき
ピントの合わせ方を変更する
（フォーカスモード）............57
ピントを合わせるエリアを変更する
（AF エリア選択）............59
ピントを固定して撮影する（フォーカスロック）....55
ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）...57

■ 測光・露出に関する設定をしたいとき
ISO 感度を変更する............61
被写体の測光方法を変更する（測光モード）............62
プログラム AE：シャッタースピードと
絞り値の組合せをカメラが決める............34
シャッタースピード優先 AE：
シャッタースピードを決めて撮影する............35
絞り優先 AE：絞り値を決めて撮影する............36
マニュアル露出：シャッタースピードと絞り値を
自分で決めて撮影する............37
長時間露出で撮影する（バルブ / タイム撮影）.......38
露出とピントを固定して撮影する
（AE/AF ロック撮影）............55
画像の明るさを意図的に変更する（露出補正）.......39

■ 画質調整に関する設定をしたいとき

ホワイトバランスを変更する 42
発色や階調を変更する
（フィルムシミュレーション）.. 64
ダイナミックレンジを設定する 86
カラー / トーン / シャープネスを設定する 87

■ ドライブモードに関する設定をしたいとき

連続撮影する 45
設定を少しずつ変えて撮影する
（ブラケット撮影）.. 46
パノラマ写真を撮影する 49
動画を撮影する.. 51

■ フラッシュ撮影に関する設定をしたいとき

フラッシュを使って撮影する 67
設定できるフラッシュモード 67
調光量を補正して撮影する（調光補正）.................. 92
別売のフラッシュを使う .... 67、121

■ カスタム設定をしたいとき

ファンクション（**Fn**）ボタンに機能を登録する 63
撮影の設定をカスタム設定として登録する 65

お手入れについて

カメラのお手入れ

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などでふきとってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングはセットアップメニューの **センサークリーニング**で行えます（104）。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

目次

はじめに 2

カメラをお使いになる前に 2
本書について 3
こんな時に使いたい機能一覧....4
お手入れについて 6
カメラのお手入れ....6
レンズのお手入れ....6
各部の名称....11
コマンドダイヤル....12
セレクターボタン....13
インジケーターランプ....13
Q ボタン（クイックメニューボタン）....14
画面の表示....15

撮影の準備 18

ストラップの取り付け方 18
レンズを取り付ける 20
バッテリーを充電する 21
バッテリーとメモリーカードを入れる....23
使用可能なメモリーカード....25
電源をオンにする / オフにする....26
初期設定を行う....27
ファインダーと LCD を切り換える 28
ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF）の切り換え 29
情報表示について....30
パワーコントロールシステムを使用する 32

撮影する 34

プログラム AE（P）....34
シャッタースピード優先 AE（S）....35
絞り優先 AE（A）....36
マニュアル露出（M）....37
長時間露出で撮影する（T/B）....38
タイム撮影（T）....38
バルブ撮影（B）....38
露出を補正する....39
ピントを合わせる 40

いろいろな撮影機能 41

近距離撮影する（マクロ）....41
ホワイトバランスを変更する....42
連続撮影する（連写）....45
ブラケティング撮影する 46
AE ブラケティング 47
ISO ブラケティング 47
フィルムシミュレーションブラケティング....47
ダイナミックレンジブラケティング 47
画像を重ね合わせて撮影する（多重露出撮影）....48
パノラマ画像を撮影する 49
ぐるっとパノラマモード....49
ハイビジョン動画を撮影する 51
動画の画像サイズを変更するには....51
動画の設定を変更するには 52
セルフタイマーを使って撮影する 53

AE/AF ロック撮影する 55
ピント合わせの方法を変える（フォーカスモード）...... 57
ピントを合わせるエリアを変える（AF エリア選択）... 59
AF エリアの選択 / 移動 59
AF エリアの拡大 / 縮小 60
感度を変更する（ISO 感度）........ 61
明るさの測定方法を変える（測光モード）........ 62
ファンクション（Fn）ボタンを使う 63
フィルムシミュレーションを使う 64
撮影の条件設定を保存する 65
RAW 画像を撮影する 66
フラッシュ撮影する 67

再生する 69

1 コマ再生する 69
撮影時の情報を確認する 70
再生ズーム 71
マルチ再生する 72
動画を再生する 73
動画再生時の操作方法について 73
ピクチャーサーチ 74
画像を検索する 74
再生メニューを実行する 74
フォトブックアシスト 75
フォトブックを作成する 75
作成したフォトブックを見る 76
作成したフォトブックを編集 / 削除する 76
パノラマを再生する 77
パノラマ再生時の操作方法について 77
連写画像を再生する 78
画像を消去する 79
再生メニューで 1 コマ消去する 79
すべてのコマを消去する 80
複数選択して消去する 81
RAW 画像を現像する（カメラ内 RAW 現像）........ 82
RAW 現像設定項目一覧 83

メニューを使いこなす 84

撮影の設定を変える — 撮影メニュー 84
撮影メニューの使い方 84
撮影メニュー一覧 85
ISO 感度 85
画像サイズ 85
画質モード 86
D-Rng ダイナミックレンジ 86
フィルムシミュレーション 86
フィルムシミュレーション BKT 86
セルフタイマー 86
WB ホワイトバランス 87
Color カラー 87
Sharp シャープネス 87
H Tone ハイライトトーン 87
S Tone シャドウトーン 87
NR ノイズリダクション 87

長秒時ノイズ低減 87
カスタム選択 88
カスタム登録 / 編集 88
AF モード 88
AF フレーム補正 88
焦点距離設定 89
レンズなしレリーズ 89
Fn ボタン設定 89
多重露出 89
画面のカスタマイズ 90
フレーミングガイド 91
AF 補助光 91
AE/AF-LOCK 設定 91
AE/AF-LOCK 機能選択 91
縦横自動回転再生 92
フラッシュモード 92
フラッシュ 92
赤目補正 92
補正前画像記録 92
動画モード 92

再生の設定を変える — 再生メニュー 93

再生メニューの使い方 93
再生メニュー一覧 94
RAW 現像 94
消去 94
トリミング 94
リサイズ 95
プロテクト 95
画像回転 96
赤目補正 96
スライドショー 97
フォトブックアシスト 97
アップロード先設定 98
ピクチャーサーチ 98
プリント予約（DPOF） 98
表示比率 99
再生音量 99

カメラの設定を変える — セットアップメニュー 100

セットアップメニューの使い方 100
セットアップメニュー一覧 101
日時設定 101
世界時計 101
言語/LANG. 101
リセット 101
マナーモード 102
コマ NO. 102
フォーカスリング 102
モニター明るさ 102
パワーセーブモード 103
クイック起動 103
自動電源 OFF 103
操作音量 103
撮影画像表示 104
センサークリーニング 104

はじめに

色空間 104
撮影ガイド表示 105
距離指標の単位 105
配色設定 105
フォーマット 105

画像をテレビで見る 106

テレビに接続する 106

画像をパソコンに転送する 108

パソコンと接続する 108
Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする 108
Macintosh にソフトウェア「FinePixViewer」をインストールする 111
カメラとパソコンを接続する 113

画像をプリントする 115

プリンターにカメラをつないでプリントする 115
プリンターに接続する 115
その場で選んでプリントする 115
プリント予約した設定でプリントする 116
プリントサービス店でプリントする（お店プリント） 118
プリントする画像を指定する（ プリント予約（DPOF）） 119

カメラで使えるアクセサリー 121

アクセサリー 121
別売アクセサリー 121
推奨アクセサリー 121
システム構成図 122

お取り扱いにご注意ください 123

センサーをクリーニングする 128

困ったときは 129

トラブルシューティング /FAQ 129
警告表示 136

資料 140

資料集 140
用語の解説 140
SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間 141
各撮影モードで使用できる機能について 142
主な仕様 144
索引 148
ソフトウェアのお問い合わせについて 151
アフターサービスについて 152

各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

1 シャッターボタン..........................40
2 露出補正ダイヤル..........................39
3 シャッタースピードダイヤル
....35、37
4 ダイヤルロックボタン.........35、37
5 AF 補助光ランプ..........................91
セルフタイマーランプ..................54
6 ホットシュー 68
7 ハイブリッドビューファインダー...29
8 ストラップ取り付け部..................18
9 スピーカー 73
10 シンクロターミナル.....................68
11 フォーカスモード切換レバー 57
12 レンズ信号接点
13 レンズ着脱ボタン.........................20
14 ファインダー切換レバー..............29
15 マイク 51
16 電源レバー 26
17 **Fn**（ファンクション）ボタン 63
18 バッテリー挿入部.........................23
19 メモリーカードスロット..............24
20 バッテリー取り外しつまみ 23
21 アイセンサー 28
22 コマンドダイヤル.........................12
23 端子カバー ....106、113、115
24 DC カプラーカバー
25 バッテリーカバーロック 23
26 バッテリーカバー.........................23
27 三脚用ねじ穴
28 液晶モニター（LCD）...................17
29 HDMI Mini Connector 106
30 USB 端子....................... 113、115
31 ボディキャップ.............................20

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

32 **VIEW MODE** ボタン....................28
33 インジケーターランプ....................13
34 ▶（再生）ボタン....................69
35 **AFL/AEL**（AF ロック /AE ロック）ボタン....................56
36 **Q** ボタン....................14
37 **MENU/OK** ボタン....................13
38 セレクターボタン....................13
39 **DISP/BACK**（表示 / 戻る）ボタン...30
マナーモード（長押し）........102
40 **AF** 選択ボタン....................59
（消去）ボタン....................69
41 **AE** 選択ボタン....................62
（縮小）ボタン....................71、72
42 **DRIVE**（ドライブ）ボタン....................45
（拡大）ボタン....................71、72
43 視度補正レンズ....................121

コマンドダイヤル

コマンドダイヤルは、メニューなどの選択の他に以下のような機能にも使えます。

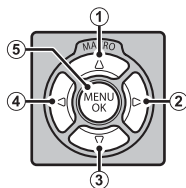
- 再生時に前後の画像を表示（📖69）
- クイックメニューの設定値変更（📖14）

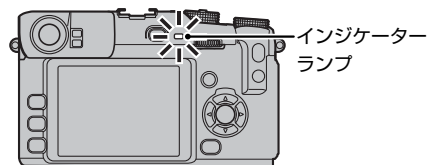
また、コマンドダイヤルの中央を押すと、以下のような機能が使えます。

- **M**（マニュアルフォーカス）時に拡大してピントを確認（📖58）
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示（📖70）

セレクターボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。

① **上に移動（▲）**
MACRO(マクロ) ボタン (📖41)
② **右に移動（▶）**
③ **下に移動（▼）**
④ **左に移動（◀）**
⑤ **MENU**（メニュー）/
OK ボタン（📖 84、93、100）

撮影時のボタンロックについて
MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に 🔒 が表示され、セレクターボタンの上に割り当てられている機能（マクロ）が使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

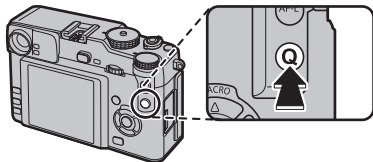
インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（撮影できません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

✎ 画面にも、警告表示が表示されます。詳細は 📖 136を参照してください。

はじめに

Q ボタン（クイックメニューボタン）

Q ボタンから撮影メニューを呼び出せます。

1 撮影画面で Q ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。

2 設定を変更するメニュー項目をセレクターボタンで選びます。

メニュー項目	📖
カスタム選択	65
感度	61
ダイナミックレンジ	86
ホワイトバランス	42
ノイズリダクション	87
画像サイズ	85
画質モード	86
フィルムシミュレーション	64
ハイライトトーン	87
シャドウトーン	87
カラー	87
シャープネス	87
セルフタイマー	53
AF モード	88
フラッシュモード	67
モニター明るさ	102

3 コマンドダイヤルで設定値を選びます。

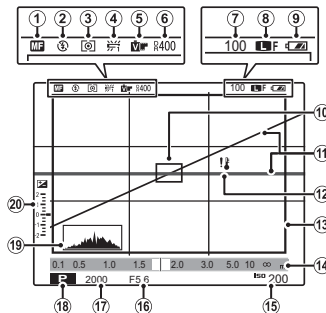
4 Q ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

✎ Q ボタンを長押しすると、カスタム登録 / 編集画面を表示できます。

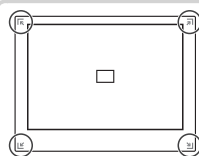
画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

光学ファインダー（OVF）

■ 静止画撮影時

1	マニュアルフォーカス............... 57	12	温度警告...................................139
2	フラッシュ................................ 67	13	ブライトフレーム
3	測光モード................................ 62	14	距離指標バー............................. 58
4	ホワイトバランス...................... 42	15	ISO 感度.................................... 61
5	フィルムシミュレーション......... 64	16	絞り値...............................36、37
6	ダイナミックレンジ................... 86	17	シャッタースピード..........35、37
7	撮影可能枚数...........................141	18	撮影モード................................ 34
8	画像サイズ・画質モード...85、86	19	ヒストグラム............................ 31
9	バッテリー残量表示................... 26	20	露出補正バー／ 露出インジケーター..........37、39
10	AF フレーム.............................. 55		
11	電子水準器................................ 90		

視度補正

ファインダー内の表示が見えにくいときは、市販の視度補正レンズを取り付けて調整してください（📖 121）。

EVF 時より投影領域が広い場合に表示されます。

電子ビューファインダー（EVF）

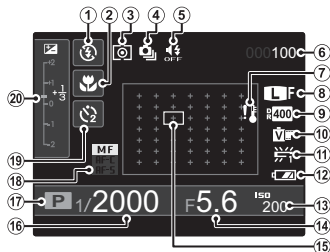
■ 静止画撮影時

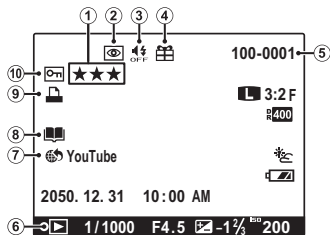
No.	名称	ページ
1	フラッシュ	67
2	マクロ（近距離）	41
3	セルフタイマー	53
4	連写モード	45
5	ホワイトバランス	42
6	フィルムシミュレーション	64
7	ダイナミックレンジ	86
8	AF フレーム	55
9	撮影可能枚数	141
10	画像サイズ・画質モード	85、86
11	温度警告	139
12	手ブレ警告	136
13	AF 警告	40、136
14	マナーモード	102
15	距離指標バー	58
16	バッテリー残量表示	26
17	ISO 感度	61
18	絞り値	36、37
19	シャッタースピード	35、37
20	測光モード	62
21	撮影モード	34
22	マニュアルフォーカス	57
23	露出補正バー／露出インジケーター	37、39
24	ヒストグラム	31
25	電子水準器	90
26	被写界深度確認	36

■ 再生時

No.	名称	ページ
1	お気に入り	69
2	赤目補正	96
3	マナーモード	102
4	プレゼント	69
5	コマ NO.	102
6	再生モード	69
7	アップロード先設定	98
8	フォトブックアシスト	75
9	プリント予約	119
10	プロテクト	95

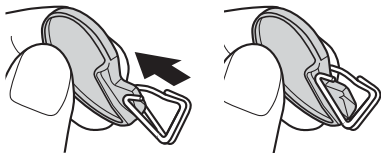
液晶モニター（LCD）

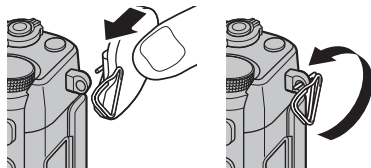
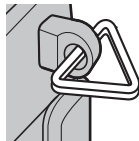
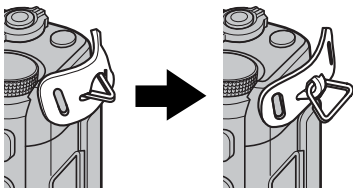
■ 静止画撮影時

1	フラッシュ 67	12	バッテリー残量表示 26
2	マクロ（近距離）........ 41	13	ISO 感度 61
3	測光 62	14	絞り値 .... 36、37
4	連写 45	15	AF エリア・AF エリアポイント 59
5	マナーモード 102	16	シャッタースピード .... 35、37
6	撮影可能枚数 141	17	撮影モード 34
7	温度警告 139	18	フォーカスモード 57
8	画像サイズ・画質モード ...85、86	19	セルフタイマー 53
9	ダイナミックレンジ 86	20	露出補正バー／露出インジケーター .... 37、39
10	フィルムシミュレーション 64		
11	ホワイトバランス 42		

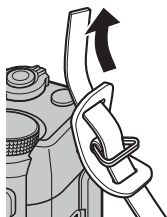
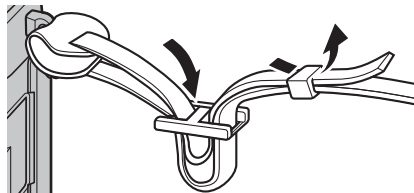
■ 再生時

1	お気に入り 69	6	再生モード 69
2	赤目補正 96	7	アップロード先設定 98
3	マナーモード 102	8	フォトブックアシスト 75
4	プレゼント 69	9	プリント予約 119
5	コマ NO. 102	10	プロテクト 95

ストラップの取り付け方

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

1 ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

Ⓘ ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外す時も使用しますので、大切に保管してください。

2 ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。

3 ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。

4 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

反対側も同様に、手順 1 〜 4 を繰り返して取り付けます。

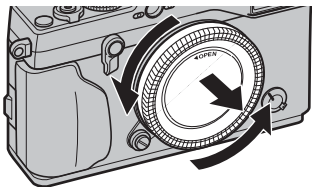
5 ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。

6 ストラップを止め具に通します。

反対側も同様に、手順 5 〜 6 を繰り返して取り付けます。

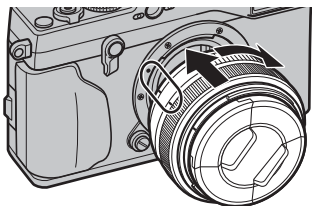
① ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

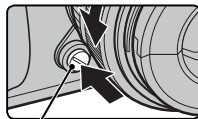
カメラにレンズを取り付けます。

① レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。

1 カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外します。

① カメラ内部には触れないでください。

2 カメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラに取り付けます。

①「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
① レンズを取り付けるときは、レンズ着脱ボタンを押さないでください。

レンズを取り外すときは

カメラの電源をオフにしてからレンズ着脱ボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。

① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けて下さい。

別売レンズについて

このカメラでは、以下の別売レンズが使用できます (📖121)。

- フジノンレンズ　XF18mmF2 R
- フジノンレンズ　XF35mmF1.4 R
- フジノンレンズ　XF60mmF2.4 R Macro

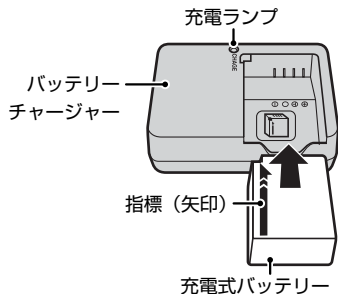
撮影の準備

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-W126 です。
- 充電時間については、📖 147 をご確認ください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標（矢印）の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合うように確認してください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

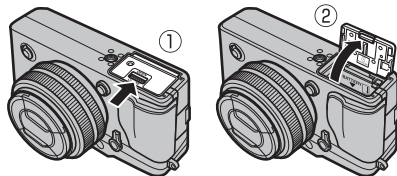
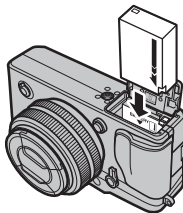
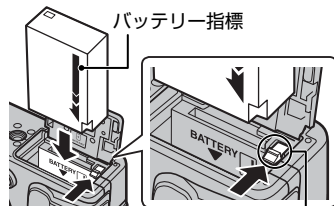
3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

- ① 同梱されている充電器は 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問合せください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」(📖 123) を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。撮影した画像は、市販の SD/SDHC/SDXC メモリーカードに記録します。

⚠ このカメラには内蔵メモリーはありません。

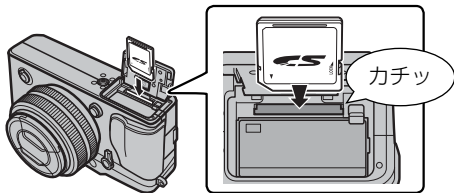
1 ロック解除ツマミをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーを入れます。

• 図のように、金色の端子を下にして、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認してください。

• バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
• バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

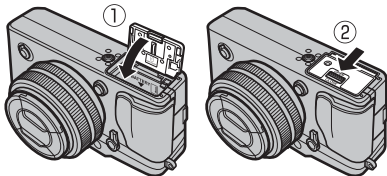
⚠ バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

⚠ バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

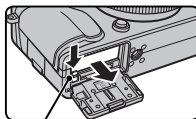
3 メモリーカードを入れます。

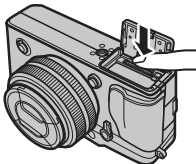
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

4 バッテリーカバーを閉めます。

ロック解除ツマミをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。

① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

バッテリーを取り出すときは

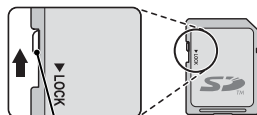
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画を撮影するときは、CLASS4 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

① **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**

① メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

① 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (📖 105) してからご使用ください。

① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

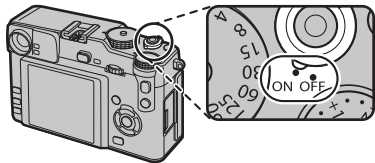
① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

① メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

① メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。

① カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。

- 撮影中に ▶（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **自動電源OFF**（📖 103）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- このカメラには節電機能や、起動時間を短縮する機能があります（📖 32）。

① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

バッテリー残量の表示

液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

✎ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」(📖 100)で、🕒 **日時設定**または 💬 **言語/LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

1 電源をオンにします。
言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 年月日の並び順を設定します。
▲▼ で年月日の並び順を選びます。

4 年、月、日、時、分を設定します。
◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選択できます。
▲▼ で設定する数字を変更できます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定が終了して、撮影を開始できます。

✎ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ
DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

ファインダーと LCD を切り換える

このカメラは、ハイブリッドビューファインダー（光学ファインダー（OVF)、電子ビューファインダー（EVF))、液晶モニター（LCD）を装備しています。

VIEW MODE ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

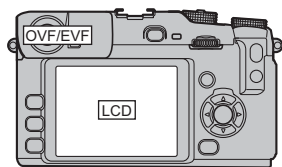
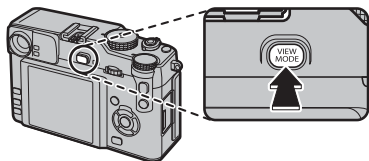
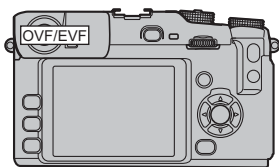
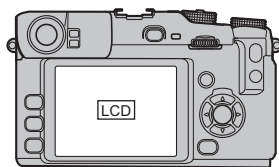
VIEW MODE

OVF/EVF
LCD

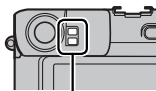
アイセンサーによる
切り換え表示

OVF/EVF

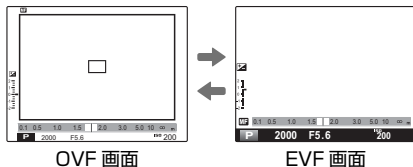
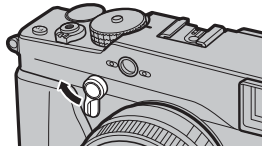
ファインダー固定表示

LCD

液晶モニター固定表示

アイセンサーによる切り換え表示について

- ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
- 目以外のものを近付けたり、直射日光があたったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

アイセンサー

ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF）の切り換え

ファインダー切換レバーを引き上げると、OVF と EVF が切り換わります。

OVF 画面　EVF 画面

OVF の表示倍率を切り換える

ファインダー切換レバーを引き上げたまましばらくすると、OVF の表示倍率が切り換わります。

ファインダーと LCD について

ファインダーと LCD にはそれぞれ特徴があります。

種類	説明
OVF	光学式なので、被写体をクリアに見ることができ、見ているそのままの瞬間を写せます。ファインダーとレンズが別の場所についているため、視差（パララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。 OVF にはそのほかに以下のような特徴があります。 • 写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなっています。 • 被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。
EVF	レンズから入った光を撮像素子で変換してファインダーに表示するため、ファインダーで見たままの画像を撮影できます。実際の被写体と、ファインダーの表示に若干タイムラグが発生します。 EVF にはそのほかに以下のような特徴があります。 • ファインダー視野率 100% のため、いつでも正確にフレーミングができます。 • 撮影後の画像をファインダーで確認できます。 • ピントをライブビューで確認できます。 • 明るさやホワイトバランスを確認できます。 • 被写界深度を確認できます。
LCD	EVF と同様に、レンズから入った光を撮像素子で変換して液晶モニターに表示します。実際の被写体と表示に若干タイムラグがあります。また、強い光の下では見づらくなります。 LCD にはそのほかに以下のような特徴があります。 • 画面が大きいので、表示が見やすくなっています。 • 撮影情報を大きく表示できます。

情報表示について

撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

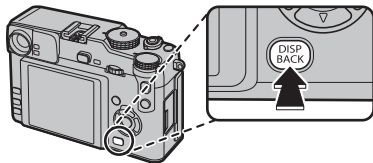
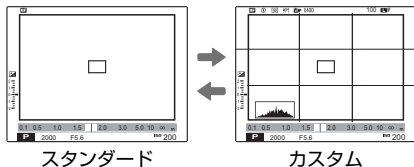
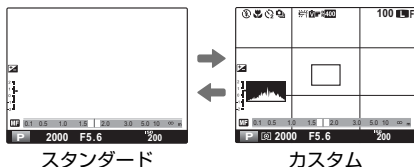
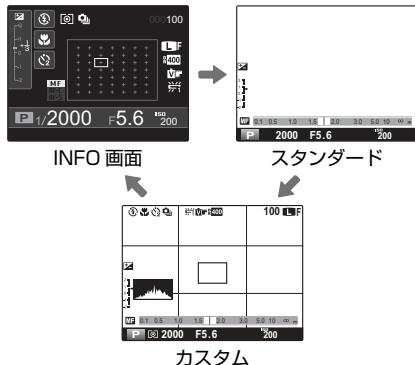
撮影時：光学ファインダー（OVF）

スタンダード　　カスタム

撮影時：電子ビューファインダー（EVF）

スタンダード　　カスタム

撮影時：液晶モニター（LCD）

INFO 画面　　スタンダード

カスタム

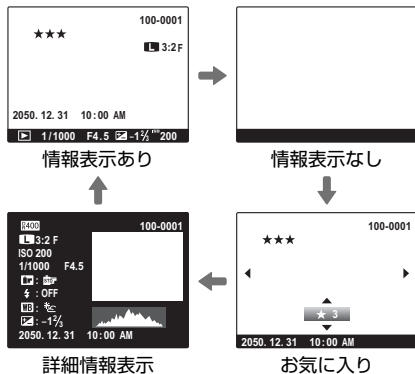
カスタム表示について

撮影メニューの **画面のカスタマイズ**（90）で表示したい項目を選択できます。画面に表示できる項目は以下の通りです。

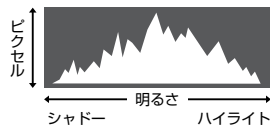
- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- 絞り / シャッター速度 /ISO
- 露出補正バー
- 測光
- フラッシュ
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- バッテリー残量表示

表示される場所は 15 ～ 17 を参照してください。

撮影の準備

再生時：EVF/LCD

ⓘ OVF での再生表示はありません。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。

適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。

露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。

露出アンダーの場合：シャドーのピクセル数が多く、左に偏ります。

ⓘ 被写体によってグラフ形状は異なります。

パワーコントロールシステムを使用する

節電機能や起動時間などの設定を変更できます。
これらの設定は、セットアップメニューの **パワーセーブモード**（節電機能）と **クイック起動**（起動時間設定）で変更します（103）。
それぞれの **ON**/**OFF** の設定により、起動時間、待機時間、撮影枚数が異なります。

			パワーセーブモード	
			OFF	ON
クイック起動	OFF	起動時間	約 0.5 秒	約 1.0 秒
		待機時間	約 2 分	―
		撮影枚数※	約 300 枚	約 350 枚（**OVF 時**：約 1000 枚）
	ON	起動時間	約 0.5 秒	約 0.5 秒
		待機時間	約 24 分	約 10 分
		撮影枚数※	約 150 枚	約 250 枚（**OVF 時**：約 400 枚）

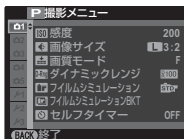
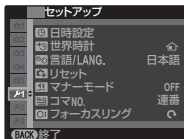
※ 弊社測定条件による。撮影枚数は、ご使用状況によって変わります。

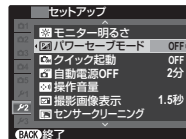
1 **MENU/OK** ボタンを押します。
メニューが表示されます。

2 ◀ を押して、タブ選択に移ります。

P 撮影メニュー
感度 200
画像サイズ L 3:2
画質モード F
ダイナミックレンジ R100
フィルムシミュレーション STD
フィルムシミュレーションBKT
セルフタイマー OFF
BACK 終了

3 ▼ を押して、セットアップタブに移ります。

セットアップ
日時設定
世界時計
言語/LANG. 日本語
リセット
マナーモード OFF
コマNO. 連番
フォーカスリング
BACK 終了

4 ▶ を押して、セットアップ画面を表示します。

5 ▼ を押して、**パワーセーブモード**または **クイック起動**を選び、▶ を押します。

6 ▲ または ▼ を押して、**ON** または **OFF** を選びます。

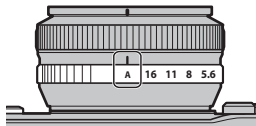
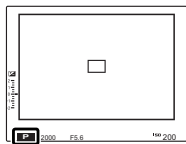
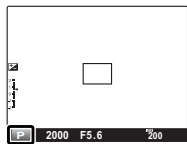
7 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

8 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

撮影の準備

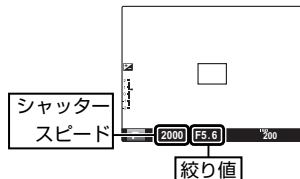
プログラム AE（P）

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

プログラム AE で撮影するには、レンズの絞りを **A**、シャッタースピードダイヤルを **A** に設定します。

表示画面に **P** が表示されます。

OVF 画面

EVF/LCD 画面

① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

プログラムシフトの設定

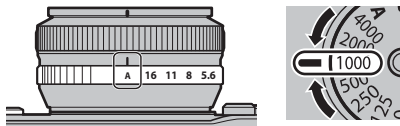
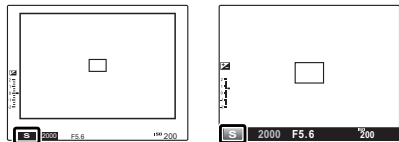
◀▶ で、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組合わせを変えることができます。

① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- 撮影メニューの D-Rng **ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき（📖 86）
- ISO **感度**が **AUTO** のとき

シャッタースピード優先 AE（S）

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

シャッタースピード優先 AE で撮影するには、レンズの絞りを A、シャッタースピードダイヤルを撮影したいシャッタースピードに設定します。

✎ シャッタースピードを設定する場合、シャッタースピードダイヤルが A の位置のときは、ダイヤルロックボタンを押しながらロックを解除して回してください。

表示画面に S が表示されます。

OVF 画面

EVF/LCD 画面

① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。

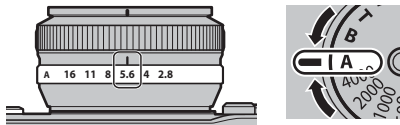
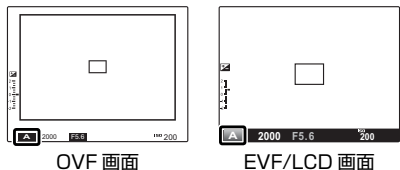
① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

絞り優先 AE（A）

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

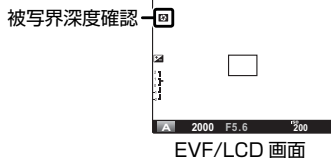
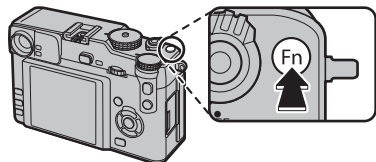
絞り優先 AE で撮影するには、シャッタースピードダイヤルを A に、レンズの絞りを撮影したい絞り値に設定します。

表示画面に A が表示されます。

OVF 画面　　EVF/LCD 画面

- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- ① **パワーセーブモード** (📖 103) が**ON**のときは、最長シャッタースピードは ¼ 秒になります。

被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、撮影メニューの **Fn ボタン設定**を **被写界深度確認**に設定します。設定後 **Fn**（ファンクション）ボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が EVF や LCD 画面で確認できます。

EVF/LCD 画面

マニュアル露出（M）

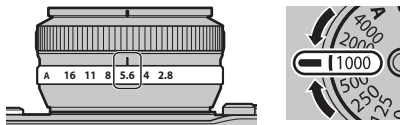
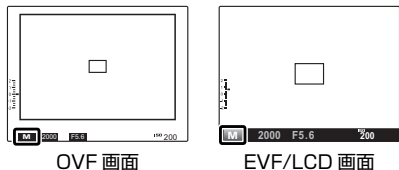
マニュアル露出では、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

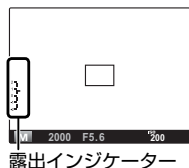
マニュアル露出で撮影するには、露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。レンズの絞りを設定したい絞り値に、シャッタースピードを撮影したいシャッタースピードに設定します。

✎ シャッタースピードを設定する場合、シャッタースピードダイヤルが **A** の位置のときは、ダイヤルロックボタンを押しながらロックを解除して回してください。

表示画面に **M** が表示されます。

OVF 画面

EVF/LCD 画面

- マニュアル露出では、常に露出インジケーターが表示されます。

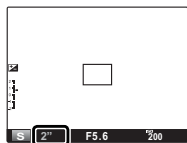
露出インジケーター

長時間露出で撮影する（T/B）

シャッタースピードダイヤルでタイム撮影（**T**）またはバルブ撮影（**B**）を選択すると、長時間露光撮影ができます。

✎ カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

タイム撮影（T）

1 シャッタースピードダイヤルを **T** に合わせます。

2 ◀▶ で露光時間を設定します。
2 ～ 30 秒の範囲で ⅓ 段刻みで設定します。

3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

バルブ撮影（B）

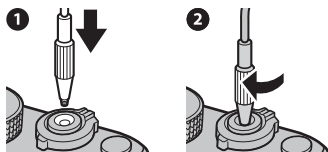
1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。

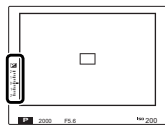
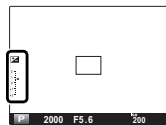
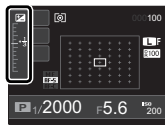
2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。
シャッターが開くのは、最大 60 分間です。

✎ 絞りを **A** に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。

✎ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、撮影メニューの **長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートレリーズを使用する

このカメラには、市販のリモートレリーズを取り付けることができます。長時間露光撮影時に便利です。

露出を補正する

露出補正ダイヤルを回すと、画像の明るさを調整できます。

① OVF を使用しているときは、露出補正バーで確認してください。

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影：**
  +⅔EV ～ +1⅔EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：**
  −⅔EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：**−⅔EV

➡「EV」とは（📖 140）

ピントを合わせる

1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り､AF フレームが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。

✎ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

✎ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光（📖 91）が発光する場合があります。

近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。マクロモードを使用するには、**MACRO** ボタンを押します。

マクロを解除するときは、もう一度 **MACRO** ボタンを押して **OFF** を選びます。

⚠ マクロモードを使用できるのは EVF/LCD の場合のみです。OVF に設定されている場合、自動的に EVF に切り換わります。

✎ EVF/LCD では、**MACRO** ボタンを押さなくても自動的に近接撮影できますが、ピントが合うまでの時間がかかる場合があります。

OVF の場合

OVF の場合は視差が大きくなるため、近接撮影はおすすめできません。

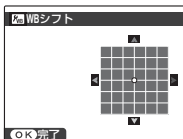
ホワイトバランスを変更する

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1 **撮影メニューから WB ホワイトバランスを選びます。**
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

2 **▲▼ でホワイトバランスを選びます。**

- **MENU/OK** を押すと、**WB シフト**画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- **DISP/BACK** を押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

✎ ホワイトバランスは **Q** ボタン（クイックメニュー）からも設定できます。

■ **ホワイトバランスの設定**

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。
(カスタム)	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します。
K	色温度を設定します（📖 44）。
☀	晴天の屋外での撮影用です。
(日陰)	曇天や日陰などでの撮影用です。
(蛍光灯1)	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯2)	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯3)	白色蛍光灯の下での撮影用です。
(電球)	電球、白熱灯の下での撮影用です。
(水中)	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

✎ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランス（📖 43）をお使いください。

✎ フラッシュ発光時は、**AUTO**/(水中) 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください（📖 67）。

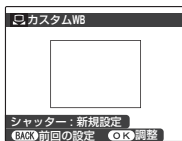
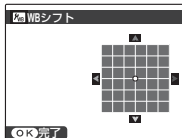
■ カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

メモ：カスタムホワイトバランスの活用例

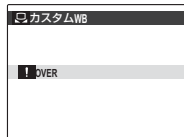
白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面から を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。

✎ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「**GOOD!**」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

「**OVER**」または「**UNDER**」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。

「**OVER**」と表示されたときは−（マイナス）側に、「**UNDER**」と表示されたときは＋（プラス）側に露出補正（📖 39）してから、再度測定してください。

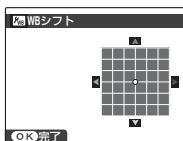
■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

メモ：色温度の活用例

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1 ホワイトバランスの設定画面から K を選びます。
色温度の一覧が表示されます。

2 ▲▼ で色温度を選び、**MENU/OK** を押します。
WB シフト画面が表示されます。

シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** を押してください。

3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

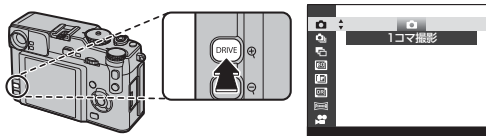
4 **MENU/OK** を押します。
色温度が設定されます。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K［ケルビン］）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

連続撮影する（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

1 **DRIVE** ボタンを押します。
ドライブ設定画面が表示されます。

2 ▲▼ で連写を選びます。
連写設定画面が表示されます。

6fps：1 秒間に約 6 コマ撮影
3fps：1 秒間に約 3 コマ撮影

3 ◀▶ で連写コマ数を選びます。

4 **MENU/OK** を押します。
連写が設定されます。

5 構図を決めてピントを合わせます。

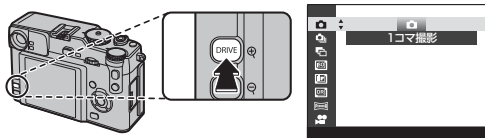
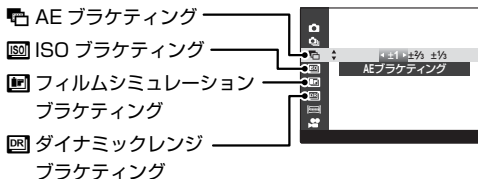
6 シャッターボタンを押します。
シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。

- ⓘ 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます（📖 102）。
- ⓘ 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- ⓘ 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ⓘ ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ⓘ シャッタースピードにより連写速度は変わります。
- ⓘ フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- ⓘ 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

ブラケティング撮影する

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。ブラケティングは、**DRIVE** ボタンを押して表示されるドライブ設定画面から選択します。

1 **DRIVE ボタンを押します。**

ドライブ設定画面が表示されます。

2 **▲▼ で使用したいブラケティングの種類を選びます（📖 47)。**

3 **設定値を選べるブラケティングの場合、◀▶ で設定を選びます。**

設定値がない場合、手順４に進みます。

4 **MENU/OK を押します。**

ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 **構図を決めてピントを合わせます。**

6 **シャッターボタンを押します。**

AE ブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅔	露出を ⅔EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅓	露出を ⅓EV ずつ変更しながら撮影します。

① アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで撮影されません。

◆ 3 コマ連続撮影するときのスピードは、最速 6fps です。

ISO ブラケティング

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度（📖 61）を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ～ 6400 までの間で 1/3 段ずつステップ幅を変更できます。

設定	説明
± 1	ステップを 1 段に設定します。
± ⅔	ステップを 2/3 段に設定します。
± ⅓	ステップを 1/3 段に設定します。

フィルムシミュレーションブラケティング

撮影した 1 枚の画像から、フィルムシミュレーション（📖 64）の設定を **フィルムシミュレーションBKT**で選んだ設定（📖 86）に変化させて3枚の画像を作成します。

ダイナミックレンジブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ（📖 86）の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

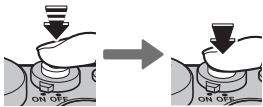
◆ 3 コマ連続撮影するときのスピードは、最速 6fps です。

◆ 感度は自動的に ISO800 以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

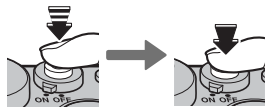
画像を重ね合わせて撮影する（多重露出撮影）

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します。

1 撮影メニューの 多重露出を ON にします。

2 1 枚目の画像を撮影します。

3 **MENU/OK** を押します。
2 枚目の撮影画面が表示されます。

- 1 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- **DISP/BACK** を押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

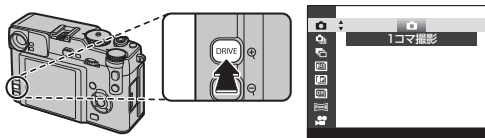
4 2 枚目の画像を撮影します。

5 **MENU/OK** を押します。
2 枚の画像を合成した画像が保存されます。

- 2 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

パノラマ画像を撮影する

ぐるっとパノラマモード

カメラを動かして撮影した複数の画像を合成し、高画質な 1 枚のパノラマ写真を作成します。

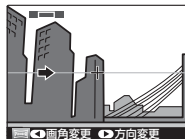
1 **DRIVE** ボタンを押します。
ドライブ設定画面が表示されます。

2 ▲▼ で ぐるっとパノラマを選びます。

3 **MENU/OK** を押します。
撮影画面が表示されます。

4 撮影する角度（撮影画角）を選びます。
◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさ（M/L）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

5 撮影方向を選びます。
▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

6 シャッターボタンを全押しします。
撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

7 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。

うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を35mm（35mm フィルム換算で 50mm 相当）以下で撮影することをおすすめします。

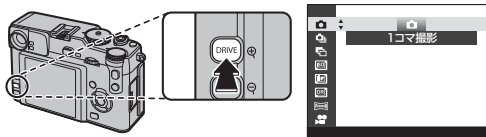
画像サイズは、撮影画角と撮影方向によって異なります。

設定	ピクセル数	ピクセル合計
M 横	5120×1440	7.3M
M 縦	2160×5120	11.1M
L 横	7680×1440	11.1M
L 縦	2160×7680	16.6M

- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はぐるっとパノラマ撮影には適していません。
  - 被写体が動いている
  - 被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
  - 波や滝など常に模様が変化する風景
  - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

ハイビジョン動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 **DRIVE** ボタンを押します。
ドライブ設定画面が表示されます。

2 ▲▼ で 動画を選びます。

3 **MENU/OK** を押します。

4 シャッターボタンを全押しします。
動画撮影が開始されます。

⓵ 動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。

5 シャッターボタンを押します。
撮影が終了します。残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

◆ ピント、露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の画面表示と異なることがあります。

⓵ 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。また、動画撮影中はマイクに近いファインダー切換レバーを操作しないようにしてください。

⓵ 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。

⓵ 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

⓵ 動画撮影時は、自動的に EVF/LCD になります。

動画の画像サイズを変更するには

撮影メニューで **動画モード**を選びます（📖92）。

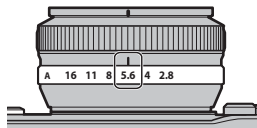
設定	説明
FULL HD **1920**（1920 × 1080）	フルハイビジョン動画
HD **1280**（1280 × 720）	ハイビジョン動画

動画の設定を変更するには

動画撮影を開始する前に、絞り値 (📖 36)、フォーカスモード (📖 57)、ホワイトバランス (📖 42)、**フィルムシミュレーション** (📖 64)、露出補正 (📖 39) を調整すると、記録する動画に設定を反映できます。

- ① フォーカスモードを **S** に選択しているときは、自動的にコンティニュアス AF になります。
- ① 動画撮影中は、絞り制御は無効になります。

背景ボケを生かした動画を撮影するには

レンズの絞りを **A** 以外に設定すると、絞り優先 AE を反映した動画が撮影できます。動画撮影前に絞りを設定してください。

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の２種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

1 撮影画面で **MENU/OK** を押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ でセルフタイマーを選び、**MENU/OK** を押します。

セルフタイマーの設定画面が表示されます。

：2 秒後撮影
：10 秒後撮影
OFF：セルフタイマー OFF

3 ▲▼ でセルフタイマーを設定します。

4 **MENU/OK** を押します。
セルフタイマーが設定されます。

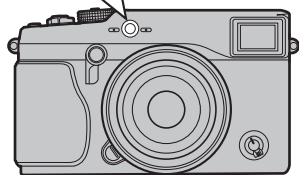
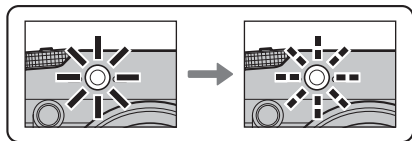
5 構図を決めてピントを合わせます。

6 セルフタイマーを開始します。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

（10 秒後撮影）では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。（2秒後撮影）では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

AE/AF ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

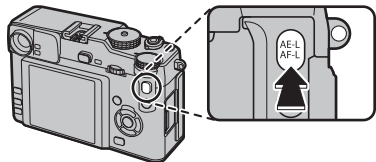
2 シャッターボタンを半押しします。
被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。

> シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。

3 半押ししたまま構図を変えます。
被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

AFL/AEL ボタンを使う

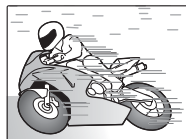
AFL/AEL ボタンを押しても、AE/AF ロックできます。

- **AFL/AEL** ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- 撮影メニューの **AE/AF-LOCK 機能選択**（91）で **AFL/AEL** ボタンの機能を次のように設定できます。

設定	説明
AE LOCK のみ（初期設定）	露出が固定（AE ロック）されます。
AF LOCK のみ	ピントが固定（AF ロック）されます。
AE+AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。

- 撮影メニューの **AE/AF-LOCK 設定**を**押下切替**にすると（91）、**AFL/AEL** ボタンをはなしても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
- マニュアルフォーカス時に **AFL/AEL** ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます（57）。

オートフォーカスの苦手な被写体について

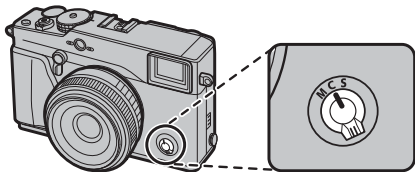
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体：

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

ピント合わせの方法を変える（フォーカスモード）

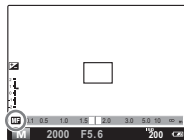
フォーカスモード切換レバーで、ピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
S （シングル AF）	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C （コンティニュアス AF）	シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。バッテリーの消耗が大きくなるため、バッテリー残量にご注意ください。
M （マニュアルフォーカス）	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体（📖56）を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。

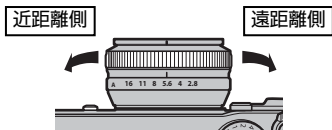
マニュアルフォーカス時の AFL/AEL ボタンについて

AFL/AEL ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

■ **M（マニュアルフォーカス）での撮影方法**

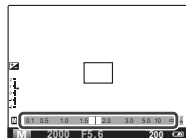
1 フォーカスモード切換レバーで **M** を選びます。

画面に MF が表示されます。

2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。

✎ フォーカスリングを回す方向は、セットアップメニューの **フォーカスリング**（📖 102）で設定できます。

ピントの確認方法

ピントの確認には、2 種類の方法があります。

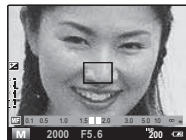
- **距離指標を目安にする**
  赤いバーはピントの中心値を、白いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、セットアップメニューの **距離指標の単位**（📖 105）でメートルとフィートを切り換えられます。

- **ファインダーに表示された画像で確認する（EVF/LCD）**

3 撮影します。

拡大表示してピントを確認する

EVF/LCD の場合、**M**（マニュアルフォーカス）時にコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。拡大表示する位置は、**AF** 選択ボタンを押して、セレクターボタンで変更できます。

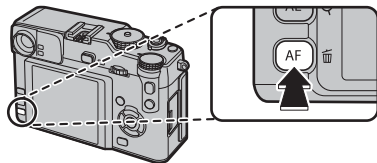
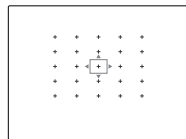
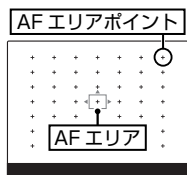
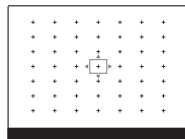
通常表示　　拡大表示

いろいろな撮影機能

ピントを合わせるエリアを変える（AF エリア選択）

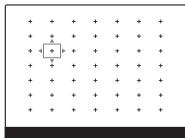
フォーカスモードを **S** に設定し、撮影メニューの **AF モード**で **エリア選択**を選択している場合、**AF** 選択ボタンを押すと、ピント合わせのエリアを変更できます。

AF エリアの選択 / 移動

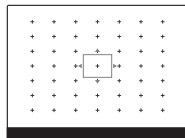
1 **AF** 選択ボタンを押します。

AF エリア選択の設定画面が表示されます。

AF エリアポイント（+）と AF エリアが表示されます。AF エリアポイントの数は OVF と EVF/LCD で異なります。

OVF（25 点）

EVF/LCD（49 点）

⚠ OVF と EVF/LCD 切り換え時は、画面外側の AF エリアが自動的に近接エリアに移動します。

2 セレクターボタンで、ピントを合わせたい位置に AF エリアを移動します。

- **MENU/OK** ボタンを押すと、AF エリアが中央に戻ります。
- **AF** 選択ボタンを押すと、AF エリアの位置が設定されます。

AF エリアの拡大 / 縮小

EVF/LCD の場合、**AF** 選択ボタンを押して、コマンドダイヤルを回すと、AF エリアのサイズが選べます。

- 左に回すとサイズが小さく（最小 50%）、右に回すとサイズが大きく（最大 150%）なります。コマンドダイヤルの中央を押すと、100% に戻ります。
- **AF** 選択ボタンを押すと、サイズが設定されます。

① OVF 時にはサイズの変更はできません。

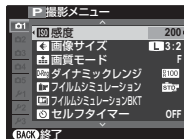
感度を変更する（ISO 感度）

ISO100 ～ ISO25600 の間で感度を設定できます。ISO100（**L（100）**）、ISO12800（**H（12800）**）、ISO25600（**H（25600）**）は、拡張感度となります。

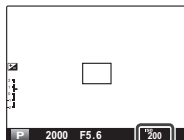
拡張感度を使用した場合、標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- 拡張感度を選択できる条件は、「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください（📖 142）。
- 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- 拡張感度（**L（100）**）のときに、画質モード（📖 66）を **RAW**、**FINE＋RAW**、**NORMAL＋RAW** に設定すると、感度が自動的に ISO200 になります。
- 拡張感度（**H（12800）**）、（**H（25600）**）のときに、画質モード（📖 86）を **RAW**、**FINE＋RAW**、**NORMAL＋RAW** に設定すると、感度が自動的に ISO6400 になります。
- **AUTO（400 ～ 3200）**を選ぶと、自動的に設定される感度の上限を（ ）内に制限できます。

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

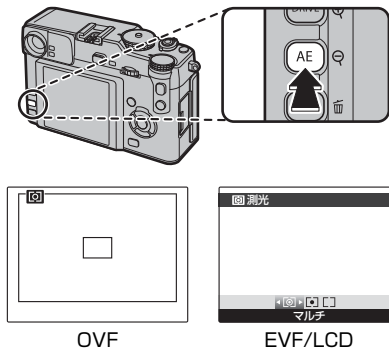
2 ▲▼ で ISO 感度を選択し、**MENU/OK** ボタンを押します。
ISO 設定画面が表示されます。

- 初期設定では、**Fn**（ファンクション）ボタンを押しても ISO 感度の設定画面が表示されます。

3 ▲▼ で ISO 感度の設定値を選びます。

4 **MENU/OK** を押します。
ISO 感度が設定されます。

明るさの測定方法を変える（測光モード）

AE 選択ボタンを押すと、カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

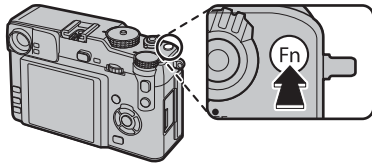
1 **AE** 選択ボタンを押します。

測光モードの設定画面が表示されます。

2 セレクターボタンで、測光モードの設定値を選びます。

- **AE** 選択ボタンを押すと測光モードが設定されます。

設定	説明
（マルチ）	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、（マルチ）をおすすめします。
（スポット）	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。OVF の場合、視差があるためスポット測光での撮影はおすすめできません。
（アベレージ）	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

ファンクション（Fn）ボタンを使う

Fn（ファンクション）ボタンには機能を 1 つ割り当てられます。**Fn** ボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。

Fn ボタンの割り当ては、撮影メニューの **Fn Fn ボタン設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 多重露出（📖 48）
- 被写界深度確認（📖 36）
- ISO 感度（📖 61）
- セルフタイマー（📖 53）
- 画像サイズ（📖 85）
- 画質モード（📖 86）
- ダイナミックレンジ（📖 86）
- フィルムシミュレーション（📖64）
- ホワイトバランス（📖 42）
- AF モード（📖 88）
- カスタム選択（📖 65）
- 動画（📖 51）
- RAW（📖 66）

✎ **Fn Fn ボタン設定**画面は **Fn** ボタンを長押ししても呼び出せます。

フィルムシミュレーションを使う

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

1 MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で フィルムシミュレーションを選択し、MENU/OK ボタンを押します。

フィルムシミュレーション設定画面が表示されます。

3 フィルムシミュレーションの設定値を選びます。

フィルムシミュレーションの設定値は以下の通りです。

設定	説明
PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
PRO Neg. Hi	PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。更に肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。
モノクロ（フィルターなし）	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
モノクロ＋Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
モノクロ＋R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
モノクロ＋G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

4 MENU/OK を押します。

フィルムシミュレーションが設定されます。

フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です（📖 87）。

いろいろな撮影機能

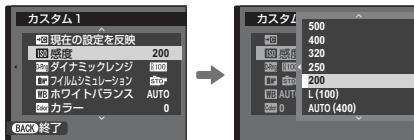
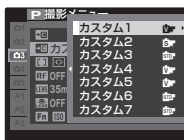
撮影の条件設定を保存する

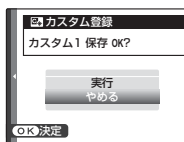
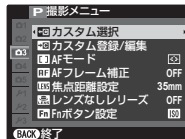
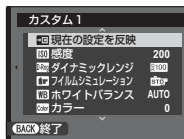
撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。

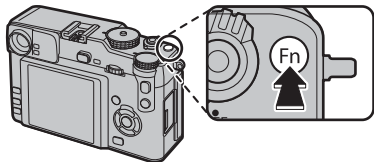
1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で カスタム登録 / 編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 設定を保存したい場所をカスタム 1 ～ 7 から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 カスタムに保存できる項目は次の通りです。個別に設定を変更することが可能です。

ISO 感度	📖 61	Sharp シャープネス	📖 87
D-Rng ダイナミックレンジ	📖 86	H Tone ハイライトトーン	📖 87
フィルムシミュレーション	📖 64	S Tone シャドウトーン	📖 87
WB ホワイトバランス	📖 42	NR ノイズリダクション	📖 87
Color カラー	📖 87		

5 **DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、設定が保存されます。

保存した設定は、撮影メニューの **カスタム選択**で呼び出せます。

✎ **現在の設定を反映**を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定がカスタム 1 ～ 7 に上書きされます。

RAW 画像を撮影する

撮影メニューの **画質モード**（86）でJPEGを選択していても、**Fn** ボタンに **RAW** を割り当てておくと（63）、**Fn** ボタンを押すだけでRAW画像を撮影できます。

設定されている画質モード	Fn ボタン（RAW を割り当て済み）を押した場合
FINE	FINE＋RAW
NORMAL	NORMAL＋RAW
FINE＋RAW	FINE
NORMAL＋RAW	NORMAL
RAW	FINE

再度 **Fn** ボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

- RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。
- 撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの **RAW現像**（94）でさまざまな設定を行ってから JPEG に保存（現像）できます。

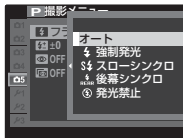
- パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER がインストールされている必要があります。付属のソフトウェアをインストールしてください（108、111）。
- 画質モードが **RAW**、**FINE＋RAW**、**NORMAL＋RAW** のときは、拡張感度（61）は設定できません。

ϟ フラッシュ撮影する

夜や暗い室内で撮影をするときは、別売のクリップオンフラッシュをお使いください。お使いのフラッシュで使用できる機能については、フラッシュの使用説明書をご覧ください。

1 フラッシュを装着します。

2 撮影メニューから ϟ フラッシュモードを選びます。

フラッシュモード設定画面が表示されます。

フラッシュ設定	説明
AUTO（オートフラッシュ、表示なし）	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
ϟ（強制発光）	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
Sϟ（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
ϟREAR（後幕シンクロ）	シャッターを閉じる直前にフラッシュが発光します。
ⓢ（発光禁止）	被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

3 フラッシュモードを選びます。

4 **MENU/OK** を押します。

フラッシュモードが設定されます。

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に ϟ が表示されます。
- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

別売フラッシュについて

このカメラでは、以下の別売クリップオンフラッシュが使用できます（📖121）。

- EF-42
- EF-20
- EF-X20

いろいろな撮影機能

赤目補正が ON のときのフラッシュ設定について

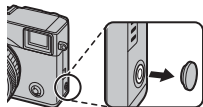
撮影メニューの **赤目補正**を**ON**(92) にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、(赤目軽減オートフラッシュ)、(赤目軽減＋強制発光フラッシュ)、(赤目軽減＋スローシンクロ)、(赤目軽減＋後幕シンクロ)から設定できます。

(赤目軽減オートフラッシュ)は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

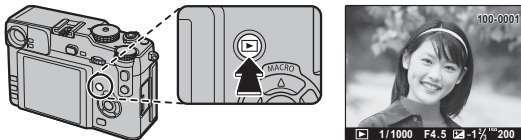
フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は 1/180 秒以下です。

シンクロターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクロターミナルに接続してください。

他社製のフラッシュをお使いなるときのご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

1 コマ再生する

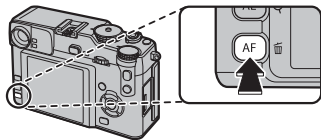
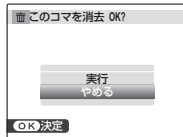
▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るは ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします 。

- コマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

★ お気に入りを設定する

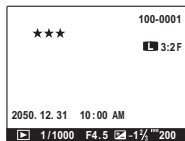
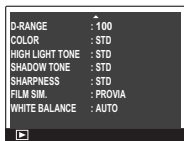
1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**★ お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0 ～ 5）を設定します。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑 ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。**実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 消去するのをやめたい場合は、**やめる**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。

メモ : 消去

再生メニューからも画像を消去できます（📖 79）。

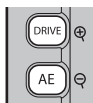
撮影時の情報を確認する

1 コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲ を押すごとに、表示が切り換わります。

- コマンドダイヤルを回すと、前後の画像に切り換えることができます。
- AF 撮影時にピントを合わせた位置も確認できます。ピントを合わせた位置に「+」マーク（AF エリアポイント）が表示されます。

ピントの位置を拡大表示する

コマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度コマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。

再生ズーム

1 コマ再生時に ボタンを押すと、画像をズーム（拡大）できます。拡大後は ボタンで縮小します。

を押すと拡大します。　　を押すと縮小します。

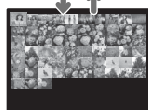
拡大表示中にセレクターボタンで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

- 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（85）によって変わります。
- **リサイズ**（95）または **トリミング**（94）の 640 で保存された画像は、再生ズームは使えません。

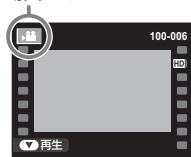
マルチ再生する

再生時に、1 コマ、1 コマ順序付き、2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示して画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。

🔍− ボタンを押すたびに表示される画像が増えます。

🔍+ ボタンを押すたびに表示される画像が減ります。

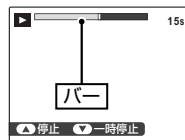
- セレクターボタンで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生では、▲ または ▼ でページを切り換えられます。

▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、🎥 が表示されます。

動画再生時の操作方法について

機能	操作	説明
再生 / 一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると停止します。再生中にもう一度 ▼ を押すと、一時停止します。
停止	▲	再生を終了します。
再生速度	◀ ▶	再生中に ◀ または ▶ を押すごとに再生速度が変わります。再生速度は再生アイコンの ▶（◀）の数で表示されます。▶（◀）の数が多いほど速度が速くなります。
コマ送り	◀ ▶	一時停止中に ◀ または ▶ を押すとコマ送りします。

機能	操作	説明
再生音量の調節	MENU/OK ＋ ▲▼	再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。 • 動画の再生音量は、再生メニューでも設定できます（📖 99）。

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

① スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

① マナーモード（📖 102）の場合は音声が再生されません。

再生する

ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます。

画像を検索する

1 再生メニューから **ピクチャーサーチ**を選びます。

2 検索条件を選びます。
以下の条件から選びます。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報の画像を表示します。
★お気に入りで検索	指定した **★ お気に入り**ランクの画像を表示します（📖 69）。
画像タイプで検索	静止画 / 動画 / 連写 /RAW のタイプ別に表示します。
アップロード先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 検索条件を絞り込みます。
絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

再生メニューを実行する

検索結果が表示されている画面から再生メニューが実行できます。

1 検索結果が表示されている画面（「画像を検索する」の手順 5）で **MENU/OK** ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 メニューを選びます。
以下の再生メニューから選びます。それぞれの操作方法は、以下を参照してください。

メニュー	参照ページ
消去	📖 79
プロテクト	📖 95
スライドショー	📖 97

サーチ終了を選ぶと、再生画面に戻ります。

再生する

📖 フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニューから 📖 フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK を押します。
フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。
全画像から選択：保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。
サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます（📖 74）。

✎ 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。
▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。
▼ で表示されている画像を表紙にします。

✎ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

6 作成終了を選びます。

✎ **全て選択**を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7 MENU/OK を押します。
フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

① フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
① 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて
- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。
http://fujifilm.jp/personal/print/index.html

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

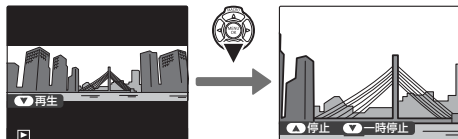
1. 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** を押します。
2. 編集または削除を選びます。

   編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法は「フォトブックを作成する」と同じです (📖 75)。

   削除：表示されているフォトブックを削除できます。
3. 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

パノラマを再生する

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。

パノラマ再生時の操作方法について

機能	操作	説明
再生 / 一時停止	▼	再生を開始します。再生が終わると停止します。再生中にもう一度 ▼ を押すと、一時停止します。
停止	▲	再生を終了します。
コマ送り	◀ ▶	一時停止中に ◀ または ▶ を押すとコマ送りします。

連写画像を再生する

1 コマ再生時に連写画像を選択して ▼ を押すと、連写の最初のコマが表示できます。

現在表示中の連写コマ NO./
連写画像の合計コマ数

連写の最初のコマ

連写再生画面の次のコマを見るには ▶ を押します。前のコマを見るには ◀ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

1 コマ再生画面に戻るには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- 連写の最後のコマ表示時に ▶ を押すと、最初のコマに戻ります。連写の最初のコマ表示時に ◀ を押すと、最後のコマが表示されます。

- 1 コマ再生画面で連写を選択して以下の操作を行った場合、連写のすべてのコマにその操作が実行されます。
  - **消去**（📖 79）
  - **画像回転**（📖 96）
  - **プロテクト**（📖 95）

  連写再生画面で 1 つのコマに操作を行った場合は、そのコマにのみ操作は実行されます。

フォルダをまたがって記録された連写について

フォルダをまたがって記録された場合は、別の連写画像として記録されます。

撮影時の情報確認について

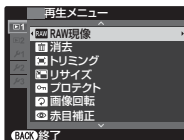
連写画像の撮影情報を確認する場合は、連写再生画面で 1 コマの画像を表示してから確認してください（📖 70）。

画像を消去する

再生メニューでは、画像の 1 コマ消去、複数枚選択消去、全消去ができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**1 コマ再生画面での画像の消去については、69ページを参照してください。

再生メニューで 1 コマ消去する

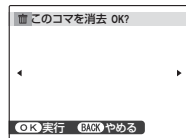
再生メニューから画像を消去できます。

1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

2 消去を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 **1 コマを選びます。**

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
1 コマ消去画面が表示されます。

このコマを消去 OK?
OK 実行　BACK やめる

6 消去する画像を選びます。

7 **MENU/OK** ボタンを押します。
選んだ画像が消去されます。

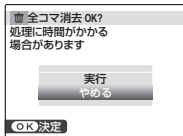
- ① **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されます。誤って消去しないように、ご注意ください。
- ① **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を選んで（手順 6）から **MENU/OK** ボタンを押してください。

手順 6、7 を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を完了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

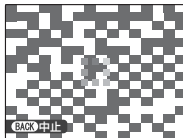
すべてのコマを消去する

1 前ページの手順４で**全コマ**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。
全コマ消去画面が表示されます。

全コマ消去 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
実行
やめる
OK 決定

3 **実行**を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。
すべての画像が消去されます。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

① **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

画像の消去

- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください（📖 95）。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

複数選択して消去する

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

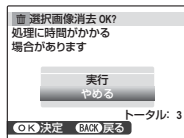
◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1 📖 79の手順４で**複数指定**を選びます。

2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

3 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。

消去実行画面が表示されます。

4 **実行**を選びます。

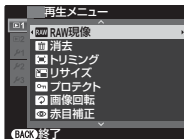
5 **MENU/OK** ボタンを押します。

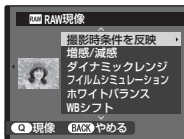
選択したすべての画像が消去されます。

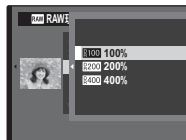
再生する

RAW 画像を現像する（カメラ内 RAW 現像）

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

2 RAW **RAW 現像**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示されます。

4 変更する項目を選びます。

5 設定の変更に移ります。

6 設定を変更します。

7 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。
手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 **Q** ボタンを押します。
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 **MENU/OK** ボタンを押します。
JPEG 画像が保存されます。

Fn ボタン

Fn ボタンに **RAW** が割り当てられているときは（📖63）、再生時に **Fn** ボタンを押すと、RAW **RAW 現像**を表示できます。

再生する

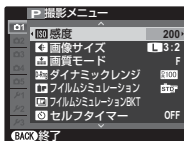
RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	参照ページ
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	**－ 1 EV ～ ＋ 3 EV まで** **1/3 EV ステップ**	📖 39
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。	R100 / R200 / R400	📖 86
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD / V / S / NH / NS / B / BY / BR / BG / SEPIA	📖 64
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / ☐ / K / ☀ / ⛅ / 1 / 2 / 3 / ☼ / ☐	📖 42
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	－９～＋９	📖 42
カラー	撮影時の画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。	**濃い / やや濃い / 標準 /** **やや薄い / 薄い**	📖 87
シャープネス	撮影時の画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT	📖 87
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT	📖 87
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT	📖 87
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	**強 / やや強** /STD/ **やや弱 / 弱**	📖 87
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB/Adobe RGB	📖 104

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

3 ▶ で設定の変更に移ります。

4 ▲ または ▼ で設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

6 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

撮影メニュー一覧

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

ISO 感度 （工場出荷時：200）

光に対する感度を変更できます（61）。

画像サイズ （工場出荷時：L 3:2）

記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数（141）が、画面のピクセルアイコンの右側に表示されます。

画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

設定	用途例
L 3:2	A3、四切（254mm × 305mm）、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
L 16:9	
L 1:1	
M 3:2	六切（203mm × 255mm）、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 16:9	
M 1:1	
S 3:2	DSC（89mm × 119mm）、L（89mm×127mm）、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 16:9	
S 1:1	

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード（工場出荷時：FINE）

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	用途例
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ダイナミックレンジ（工場出荷時：R100）

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO（自動調整）	R100 **100%**	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	R200 **200%**	⇕
	R400 **400%**	コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

① ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
- R200 **200%**は感度が ISO400 以上、R400 **400%**は ISO800 以上のときに設定できます。

フィルムシミュレーション（工場出荷時：STD PROVIA）

撮影する画像の発色や階調を変更できます（📖 64）。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます（📖 47）。

セルフタイマー（工場出荷時：OFF）

セルフタイマーを使用できます（📖 53）。

メニューを使いこなす

WB ホワイトバランス　（工場出荷時：AUTO）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます（📖 42）。

Color カラー　（工場出荷時：標準）

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。

設定：**濃い** / **やや濃い** / **標準** / **やや薄い** / **薄い**

Sharp シャープネス　（工場出荷時：スタンダード）

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは**ハード**に、ソフトにしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**ハード** / **ミディアムハード** / **スタンダード** / **ミディアムソフト** / **ソフト**

H Tone ハイライトトーン　（工場出荷時：スタンダード）

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**ハード** / **ミディアムハード** / **スタンダード** / **ミディアムソフト** / **ソフト**

S Tone シャドウトーン　（工場出荷時：スタンダード）

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**ハード** / **ミディアムハード** / **スタンダード** / **ミディアムソフト** / **ソフト**

NR ノイズリダクション　（工場出荷時：スタンダード）

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは**強**に、画像の輪郭を残したいときは**弱**に設定します。

設定：**強** / **やや強** / **スタンダード** / **やや弱** / **弱**

長秒時ノイズ低減　（工場出荷時：ON）

ON にすると、長時間露光撮影時（📖 38）のノイズを低減できます。

設定：**ON**/**OFF**

カスタム選択

カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

設定：**カスタム 1**/ **カスタム 2**/ **カスタム 3**/ **カスタム 4**/ **カスタム 5**/ **カスタム 6**/ **カスタム 7**

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます（📖 65）。

AF モード　（工場出荷時：エリア選択）

S 時の AF エリア選択方法を設定します。

設定	用途例
オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを手動で選択します（📖 59）。

AF フレーム補正　（工場出荷時：OFF）

ON にすると、OVF 時に近接撮影用（撮影距離 約 80cm) の AF フレームが追加されます。シャッターボタンを半押しすると、ピント位置に応じた位置に AF フレーム（緑色）が表示されます。

設定	ON	OFF
イメージ	∞時の AF フレーム 撮影距離 約 80cm 時の AF フレーム	

焦点距離設定 （工場出荷時：50mm）

カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます。

設定：**レンズ 1（21mm）**／**レンズ 2（24mm）**／**レンズ 3（28mm）**／**レンズ 4（35mm）**／**レンズ 5（50mm）**／**レンズ 6（75mm）**

- **レンズ 1** ～ **4** を選ぶと、（）内の焦点距離がカメラに設定されます。
- **レンズ 5** と **6** は、任意の焦点距離をコマンドダイヤルまたはセレクターボタンで設定できます。設定した焦点距離が（）内に表示されます。

レンズなしレリーズ （工場出荷時：OFF）

レンズを未装着でシャッターボタンを押せるかどうかを設定します。

設定：**動作許可**／**OFF**

Fn ボタン設定 （工場出荷時：ISO 感度）

Fn（ファンクション）ボタンに割り当てる機能を設定できます（📖 63）。

多重露出 （工場出荷時：OFF）

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します（📖 48）。

画面のカスタマイズ

OVF または EVF/LCD 時に、ファインダーまたは液晶モニターに表示する情報を設定します。

1. 撮影メニューで **画面のカスタマイズ**を選びます。

2. **OVF** または **EVF/LCD** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3. 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
   画面に表示する項目は、☑ が表示されます。☑ が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

フレーミングガイド*	絞り / シャッター速度 /ISO	フィルムシミュレーション
電子水準器	露出補正バー	ダイナミックレンジ
AF 時の距離指標	測光	撮影可能枚数
MF 時の距離指標	フラッシュ	画像サイズ & 画質モード
ヒストグラム	ホワイトバランス	バッテリー残量表示

* フレーミングガイドの種類を選択できます（📖 91）。

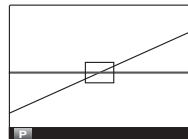
4. 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
   設定が保存されます。

✎ 表示される場所は 📖 15 ～ 17 を参照してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2 本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。

✎ カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

メニューを使いこなす

フレーミングガイド （工場出荷時：方眼 9 分割）

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	方眼 9 分割	方眼 24 分割	HD フレーミング
説明	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	縦横にガイド線が表示されます（24コマ）。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ			

AF 補助光 （工場出荷時：ON）

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。

AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：**ON**/**OFF**

- マナーモードでは、AF 補助光は発光しません。
- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

AE/AF-LOCK 設定 （工場出荷時：AE/AF-LOCK 押下時のみ）

AFL/AEL ボタンを押したときの機能を設定します。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AE/AF が固定されます。
押下切替	ボタンを押すと AE/AF が固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AE/AF-LOCK 機能選択 （工場出荷時：AE-LOCK のみ）

AFL/AEL ボタンを押したときにピントと露出のどちらを固定するかを設定できます（📖 55）。

メニューを使いこなす

縦横自動回転再生 （工場出荷時：ON）

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定：**ON/OFF**

フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます（📖 67）。

フラッシュ （工場出荷時：± 0）

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

設定：**+2/3/+1/3/ ± 0/–1/3/–2/3**

- 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

赤目補正 （工場出荷時：OFF）

ON にすると、暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

設定：**ON/OFF**

- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

補正前画像記録 （工場出荷時：OFF）

ON にすると、**赤目補正**の処理前の画像も同時に記録します。

設定：**ON/OFF**

動画モード （工場出荷時：FULL HD）

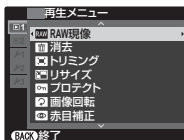
撮影する動画の画像サイズを変更できます（📖 51）。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

4 ▶ で設定の変更に移ります。

5 ▲ または ▼ で設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

7 **DISP/BACK** ボタンを押して、再生画面に戻ります。

再生メニュー一覧

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます（82）。

消去

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます（79）。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1. 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
2. 再生メニューで トリミングを選びます。
3. ボタンと ボタン、セレクターボタンで切り抜きたい部分を調整します。
4. **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
5. **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が 640 のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

メニューを使いこなす

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 再生メニューで **リサイズ**を選びます。

3 変更するサイズ（M、S、640）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニューで **プロテクト**を選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

- **設定 / 解除**：プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。
  - 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
- **全コマ設定**：すべての画像がプロテクトされます。
- **全コマ解除**：すべての画像のプロテクト設定を解除します。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマット（📖 105）すると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転

画像を回転できます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 再生メニューで **画像回転**を選びます。

3 セレクターボタンの ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください（📖 95）。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- **縦横自動回転再生**を **ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します（📖 92）。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューで **赤目補正**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- ◀ または ▶：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル *[顔]*	1 コマずつ再生
ノーマル	
フェード *[顔]*	1 コマずつフェードアウトしながら再生
フェード	
マルチ	複数コマを一度に再生

* 検出した顔を拡大表示して再生します。

スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます（75）。

メニューを使いこなす

アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK、mixi へのアップロード先を設定できます。

1 再生メニューから **アップロード先設定**を選びます。

2 アップロード先を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。

- アップロード予約されていない画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を設定します。
- アップロード予約されている画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を解除します。

4 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

設定を終了するには、**DISP/BACK** を押します。

全コマ解除を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** を押してください。

① アップロード予約されたファイルは、再生時に **YouTube**、**FACEBOOK**、**mixi** と表示されます。
① アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。
① アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください（📖 108）。

① この機能は Windows のみで使用できます。

ピクチャーサーチ

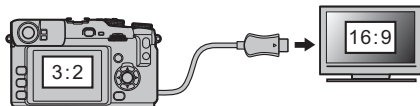
さまざまな条件で、画像を検索できます（📖 74）。

プリント予約（DPOF）

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します（📖 119）。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。

設定	16:9	3:2
イメージ		

✎ **16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

再生音量 （工場出荷時：7）

再生時の音量を設定します。

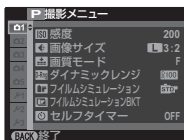
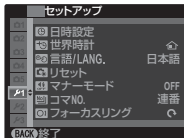
設定：**0** ～ **10**

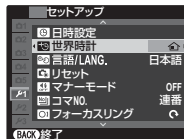
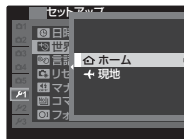
カメラの設定を変える ― セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
メニューが表示されます。

2 ◀ でタブ選択に移ります。

3 ▼ でセットアップタブに移ります。

4 ▶ でセットアップ画面を表示します。

5 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

6 ▶ で設定の変更に移ります。

7 ▲ または ▼ で設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

9 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください（📖 27）。

世界時計　（工場出荷時：ホーム）

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	「初期設定を行う」（📖 27）で設定した地域の日時を表示
現地	旅行先の日時を表示

現地時間の設定

1 **現地**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
2 時差を設定します。
- ◀ または ▶：＋ / −、時間、分の選択
- ▲ または ▼：設定の変更

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ✈ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

リセット

日時設定、**世界時計**、**配色設定**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 ▶ を押すと、確認画面が表示されます。

2 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

メニューを使いこなす

マナーモード （工場出荷時：OFF）

ON にすると、AF 補助光を発光禁止にし、操作音や動画の再生音をオフに設定します。

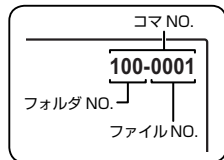
設定：**ON**/**OFF**

- **DISP/BACK** ボタンを長押ししてもマナーモードを設定できます。もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しするとマナーモードが解除されます。
- 動画再生中は、マナーモードは設定できません。

コマ NO. （工場出荷時：連番）

コマ NO.（フォルダ NO. ーファイル NO.）の付け方を設定します。

メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイルNO.に1を足したファイルNO.が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（138）。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- **リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

フォーカスリング （工場出荷時：時計回り）

遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を設定できます。

設定：**時計回り** / **反時計回り**

モニター明るさ （工場出荷時：0）

画面の明るさを設定します。

設定：**–5** ～ **+5**

メニューを使いこなす

パワーセーブモード （工場出荷時：OFF）

ON にすると、節電機能が働き、フル充電されたバッテリーで撮影できる枚数が増えます（📖 32）。

設定：**ON**/**OFF**

クイック起動 （工場出荷時：OFF）

ON にすると、カメラの電源を一度オフにしてから再度オンにした場合に高速起動します（📖 32）。

設定：**ON**/**OFF**

自動電源 OFF （工場出荷時：2 分）

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5 分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2 分	
30 秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

- 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。

操作音量 （工場出荷時：🔉）

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定：🔇OFF/🔈/🔉/🔊

- 音を消したいときは、🔇OFF を選びます。

メニューを使いこなす

撮影画像表示 （工場出荷時：1.5 秒）

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターを半押しするまで、または **MENU/OK** ボタンを押すまで表示します。コマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
3 秒	撮影した画像を一定時間表示。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。
1.5 秒	
OFF	表示なし

- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	センサークリーニングを実行します（📖6）。
電源 ON 時に実行	カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。 再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

- センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手動でセンサーをクリーニングしてください（📖128）。

色空間 （工場出荷時：sRGB）

カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	商用印刷用途などに適しています。

撮影ガイド表示 （工場出荷時：ON）

ON にすると、機能の説明を表示します。

設定：**ON**/**OFF**

距離指標の単位 （工場出荷時：メートル）

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます（📖 58）。

設定：**メートル** / **フィート**

配色設定

メニューやカーソルなどの色を設定できます。

フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

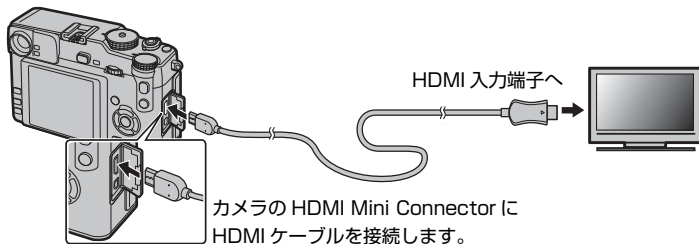
- ⓘ 消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ⓘ フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

画像をテレビで見る

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（📖 97）を大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。

① テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

3 テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 電源レバーを **ON** に合わせて、カメラの電源をオンにし、▶（再生）ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。

① ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

✎ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows：MyFinePix Studio、Macintosh：FinePixViewer）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	
OS*1	Windows 7（SP1）/ Windows Vista（SP2）	Windows XP（SP3）
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）*2	Pentium4、2GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）*2
メモリ	1GB 以上	512MB 以上（1GB 以上）*2
ハードディスク空き容量	2GB 以上	
ディスプレイ	DirectX 9 以上対応のビデオカード（推奨）	DirectX 7 以上対応のビデオカード（必須）*3
	1,024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 • 画像アップロード機能、Map Viewer 使用時に、.NET Framework 3.5 SP1 のインストールが必要 • .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要	

*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。

*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。

*3 DirectX 7 に対応していないパソコンにインストールすると、正常に動作しない場合があります。詳しくは、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

ⓘ 上記以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 **パソコンを起動します。**
コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 **起動中のアプリケーションを終了して、付属のCD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。**
インストーラーが自動で起動します。

Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ
同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する
インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/ **コンピュータ**（Windows Vista）/ **マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。
2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
3 **SETUP** または **SETUP.EXE** をダブルクリックします。

4 **MyFinePix Studio のインストールをクリックします。**
- 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。
- RAW FILE CONVERTER も一緒にインストールされます。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」(📖 113) に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から MyFinePix Studio をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows 7/Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP）で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「FinePixViewer」をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel Processor（Core2 Duo 以上）*2
OS*	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.6） ※ Mac OS X 10.7 以降には対応していません。
メモリ	256 MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200 MB 以上 動作に必要な容量：400 MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外

*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。
*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。
最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

✎ RAW FILE CONVERTER をインストールする場合は、**SILKYRFCEXInstaller** をダブルクリックしてください。RAW FILE CONVERTER をインストールすると、RAW 画像をパソコン上で現像できます。

4 FinePixViewer のインストールをクリックします。
画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。終了をクリックしてください。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

① Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

7 FinePixViewer を自動起動させます。

Mac OS X（バージョン 10.5 以前）について

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。
3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

Mac OS X（バージョン 10.6）について

1 あらかじめカメラを接続しておき、カメラの電源をオンにします。
2 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
デバイス欄に、接続したカメラが表示されます。
3 接続したカメラの動作設定を選択します。
このカメラを接続時に開くアプリケーション欄で、**その他**から **FPVBridge** を選択し、**選択**ボタンをクリックします。
4 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Macintosh から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewer フォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

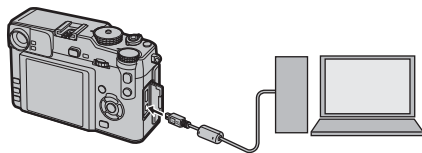
2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 電源レバーを **ON** に合わせて、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。
画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。
画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

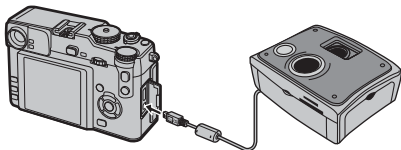
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

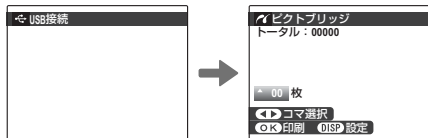
ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

2 カメラの電源をオンにします。

液晶モニターに USB 接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

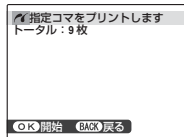
1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。

最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

5 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

日付を入れてプリントする

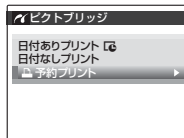
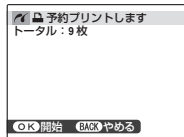
撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF）（119）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1 **DISP/BACK** ボタンを押します。
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。

2 **予約プリント**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

画像をプリントする

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

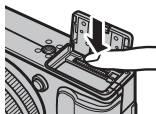
プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

- このカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、🖨 **プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定（📖 119）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ

事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（🖨 **プリント予約（DPOF）**：📖 119）。

メモリーカード

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

フジカラーデジカメプリントサービス店

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、http://fujifilm.jp/personal/print/index.html をご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、108 ページを参照してください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（📖 27）。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html

プリントする画像を指定する（🖨 プリント予約（DPOF））

再生メニューの 🖨 **プリント予約（DPOF）**であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（📖 115）、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき（📖 118）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

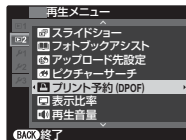
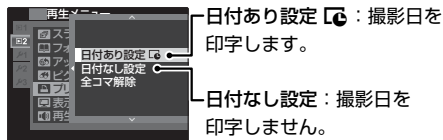
DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで 🖨 プリント予約（DPOF）を選びます（📖 98）。

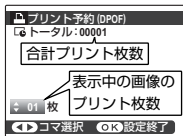
2 日付あり設定 または日付なし設定を選びます。

日付あり設定：撮影日を印字します。

日付なし設定：撮影日を印字しません。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます（最大 99 枚）。

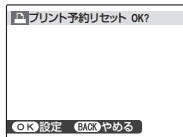
• DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。

6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

7 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

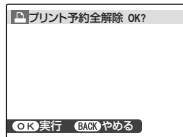
DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に が表示されます。

◈ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。

◈ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

◈ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

アクセサリー

別売アクセサリー

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式 **バッテリー NP-W126**：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126 を充電します。充電時間は約 150分（＋20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。	
フジノンレンズ XF18mmF2 R：交換レンズです。	
フジノンレンズ XF35mmF1.4 R：交換レンズです。	
フジノンレンズ XF60mmF2.4 R Macro：交換レンズです。	
クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90゜です。単三電池 2 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ～ 105mm（35mm フィルム換算）のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90゜、左 180゜、右 120゜です。単三電池 4 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。	
プロテクトフィルター PRF-52：フィルター径 52mm 用のプロテクトフィルターです。	
プロテクトフィルター PRF-39：フィルター径 39mm 用のプロテクトフィルターです。	
ハンドクリップ HG-XPro1：カメラのホールディング性を高めます。	
レザーケース LC-XPro1：X-Pro1 専用の本革製ケースです。カメラを装着したまま撮影可能な速写ケースタイプです。本革の高級感に加えて、実用性をもたせたケースです。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。本ケースは、焦点距離 35mm 以下の交換レンズ装着時専用です。	

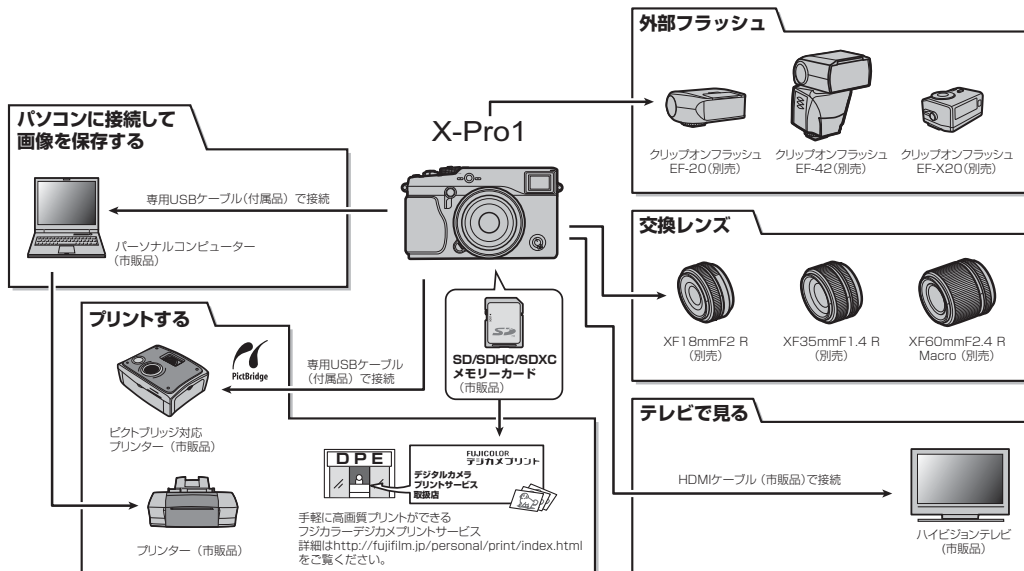
※最新情報については、富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

推奨アクセサリー

このカメラでは、次のアクセサリーを推奨します。

視度補正レンズ：コシナ製視度補正レンズ。

システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます（パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。
  http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html
* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
- 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用してください。

可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ACパワーアダプターを接続したまま移動しない。ACパワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

本製品やACパワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
- 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - ＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

2 単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池使用機種

■取扱い上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。

- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合 : 充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単３形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。

注意 アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種（1、2）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウェア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピューター（以下パソコンといいます）と Windows、Macintosh の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンと Windows、Macintosh の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- xD、xD-Picture Card ™、xD- ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- IrSimple ™は Infrared Data Association® の商標です。
- IrSS ™または IrSimpleShot ™は、Infrared Data Association® の商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

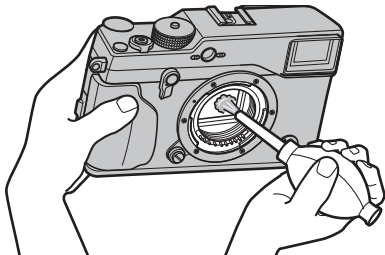
- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

センサーをクリーニングする

① クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブロアー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。

① ブロアーはブラシの付いていないものを使用してください。ブロアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。

2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 取り除けていない場合は、再度ブロアーでクリーニングしてください。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症状		ここをチェック！	処置	ページ
バッテリー、電源について	**ON/OFF**（電源）レバーを **ON** に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	21、23
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	23
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	24
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	124
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		フォーカスモードを **C**（コンティニュアス AF）に設定していませんか？	**C**（コンティニュアス AF）で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	57
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	21、23

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	23
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	23
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	21
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	23、152

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック！	処 置	ページ
メニューが日本語以外で表示されています。	セットアップメニューの **言語/LANG.** が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	101

■ 撮影時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	24、79
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	105
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	24
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	21、23
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	26
	シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んでいませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	41
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体（📖 56）を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	55
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケーターランプが橙色に点灯していませんか？	インジケーターランプが消灯するまでお待ちください。	13

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	142
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	21、23
		連写が設定されていませんか？	連写を **OFF** に設定してください。	45
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	102
		フラッシュ設定が （フラッシュ発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを （フラッシュ発光禁止）以外に設定してください。	67
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	102
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	67
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが 1/180 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを 1/180 秒以下に設定してください。	35、37
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	6
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようにしてください。	—
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と **!AF** が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	40
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	67
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	139
		温度警告が表示されていませんでしたか？		

■ 再生時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	99
		撮影 / 録音中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影 / 録音時はマイクをふさがないでください。	11
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	11
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	102
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	95
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカード を交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	102

困ったときは

■ 接続時

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック！</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">テレビとの接続について</td><td>カメラの画面に何も表示されません。</td><td>カメラとテレビを接続していませんか？</td><td>カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。</td><td>107</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テレビに画像、音声が出ません。</td><td>カメラとテレビが正しく接続できていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>106</td></tr>
<tr><td>テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？</td><td>テレビの入力を「HDMI」にしてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>テレビの音量が小さくなっていませんか？</td><td>テレビの音量を調節してください。</td><td>107</td></tr>
<tr><td rowspan="2">パソコンとの接続について</td><td>パソコンがカメラを認識しません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>113</td></tr>
<tr><td>撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。</td><td>MyFinePix Studio または FinePixViewer を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？</td><td>付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio、Macintosh: FinePixViewer）を使って、画像を取り込んでください。</td><td>108</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プリンターとの接続について</td><td rowspan="2">接続したのにプリントできません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>115</td></tr>
<tr><td>プリンターの電源は入っていますか？</td><td>プリンターの電源を入れてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>1 枚ずつしかプリントされません。</td><td rowspan="2">PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？</td><td rowspan="2">プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>日時が印字されません。</td></tr>
</table>

■ その他

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	23
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	21、23
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	23、152
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	102

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
（赤点灯）	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
（赤点滅）	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF（赤点灯） AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください（55）。 • 近距離撮影の場合は、マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー **レンズ制御エラー** **電源を入れ直してください**	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（105）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（105）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（105）。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

<table>
<tr><th>警告表示</th><th>警告内容</th><th>処 置</th></tr>
<tr><td rowspan="5">カードエラー</td><td>メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。</td><td>メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖 105）。</td></tr>
<tr><td>メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。</td><td>メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（📖 105）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。</td></tr>
<tr><td>カメラが故障しています。</td><td>弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td>非対応のメモリーカードです。</td><td rowspan="2">弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。</td></tr>
<tr><td>メモリーカードが壊れています。</td></tr>
<tr><td>プロテクトされたカードです</td><td>SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。</td><td>SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（📖 25）。</td></tr>
<tr><td>動画記録できません</td><td>パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。</td><td>メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖 105）。</td></tr>
<tr><td>SD 空き容量がありません</td><td>メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。</td><td>画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">記録できませんでした</td><td>メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。</td><td>メモリーカードを入れ直すか電源の ON/OFF を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td>画像を記録する空き容量がありません。</td><td>画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。</td></tr>
<tr><td>メモリーカードがフォーマットされていません。</td><td>メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（📖 105）。</td></tr>
<tr><td>DISP を長押しして
マナーモードを
解除してください</td><td>マナーモード時に音量を設定しようとしています。</td><td>マナーモード時は音量の設定はできません。音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。</td></tr>
</table>

警告表示	警告内容	処 置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ No.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 **コマ No.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカード の接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（105）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしました。	30000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 • プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（95）。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません **回転できません**	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません **実行できません**	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—

困ったときは

警告表示	警告内容	処 置
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（🎁）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
!🌡	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

困ったときは

資料集

用語の解説

DPOF（ディーポフ）：Digital Print Order Format の略。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたいコマや枚数などの「プリント予約」情報を、メモリーカードに記録するフォーマットです。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや画像素子などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより画像素子に与える光量を一定にしています。画像素子に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は＋ 1、半分になると EV 値は－ 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

HDMI：High-Definition Multimedia Interface の略。パソコンとディスプレイの接続インターフェースである DVI に、音声の入出力などを付け加えたデジタル家電で映像や音声などを伝送するインターフェースの 1 種です。

JPEG：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

MOV 形式：Apple 社が開発した動画像のファイル形式で、拡張子が ".mov" です。インターネット上での動画配信によく使われている形式の 1 つで、QuickTime Player で再生できます。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード ＼ 記録媒体		4GB		8GB	
		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 3:2	620	990	1250	1990
	L 16:9	730	1160	1480	2340
	L 1:1	930	1450	1870	2920
	M 3:2	990	1930	1990	3880
	M 16:9	1160	2290	2340	4600
	M 1:1	1470	2810	2960	5650
	S 3:2	1850	3540	3710	7110
	S 16:9	2170	4130	4360	8290
	S 1:1	2750	3990	5530	8020
パノラマ	L 縦	480	950	970	1910
	L 横	720	1400	1440	2820
	M 縦	720	1400	1440	2820
	M 横	1060	2100	2140	4210
RAW		160		320	
動画*1	FULL HD 1920*2	38 分		76 分	
	HD 1280*2	54 分		109 分	

*1 HD 動画を撮影するときは、CLASS④ 以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 連続して記録する場合、約 29 分で自動的に撮影を停止します。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

			P	S	A	M	▣	PANORAMA	🎥
🌷 マクロ		OFF	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]
		🌷	✔	✔	✔	✔	✔		
⚡ フラッシュ	👁 赤目補正 OFF	AUTO	✔				✔[7]		
		⚡	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
		S⚡	✔		✔		✔[7]		
		⚡REAR	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
		⊘	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
	👁 赤目補正 ON	👁AUTO	✔				✔[7]		
		👁⚡	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
		👁SLOW	✔		✔		✔[7]		
		👁REAR	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
		⊘	✔	✔	✔	✔	✔[7]		
WB ホワイトバランス			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
連写		6 fps	✔	✔	✔	✔			
		3 fps	✔	✔	✔	✔			
ブラケティング		AE	✔	✔	✔	✔			
		ISO	✔	✔	✔	✔			
		FILM	✔	✔	✔	✔			
		DR	✔	✔	✔	✔			
測光モード		(◎)	✔	✔	✔	✔	✔	✔[2]	✔[2]
		[•]	✔	✔	✔	✔	✔		
		[ ]	✔	✔	✔	✔	✔		
フォーカスモード		C	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
		S	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]
		M	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
露出補正			✔	✔	✔		✔[7]	✔	✔

		P	S	A	M	▣	PANORAMA	🎥
ISO 感度	H (25600)	✔	✔	✔	✔	✔		
	H (12800)	✔	✔	✔	✔	✔		
	6400	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	5000	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	4000	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	3200	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	2500	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	2000	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	1600	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	800	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	640	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	500	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	400	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	200	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	L (100)	✔	✔	✔	✔	✔		
	AUTO (3200)	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	AUTO (1600)	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	AUTO (800)	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	AUTO (400)	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
画像サイズ	L	✔	✔	✔	✔	✔		
	M	✔	✔	✔	✔	✔		
	S	✔	✔	✔	✔	✔	✔[4]	
画質モード	FINE	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	NORMAL	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	FINE+RAW	✔	✔	✔	✔	✔		
	NORMAL+RAW	✔	✔	✔	✔	✔		
	RAW	✔	✔	✔	✔	✔		
D-Rng ダイナミックレンジ	AUTO	✔	✔	✔		✔[7]	✔	
	R100	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	R200	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	R400	✔	✔	✔	✔	✔	✔	

資料

		P	S	A	M			
フィルム シミュレーション	STD	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	V	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	S	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	NH	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	NS	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	B	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BY	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BR	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	BG	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	SEPIA	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
セルフタイマー		✔	✔	✔	✔	✔		
カラー		✔	✔	✔	✔	✔		
シャープネス		✔	✔	✔	✔	✔		
ハイライトトーン		✔	✔	✔	✔	✔		
シャドウトーン		✔	✔	✔	✔	✔		
ノイズリダクション		✔	✔	✔	✔	✔		
長秒時ノイズ低減		✔	✔	✔	✔	✔		
AF モード		✔	✔	✔	✔	✔	✔[5]	
		✔	✔	✔	✔	✔	✔[5]	
カスタム選択		✔	✔	✔	✔	✔		
カスタム登録 / 編集		✔	✔	✔	✔	✔		

		P	S	A	M			
カスタム撮影画面	フレーミングガイド	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	電子水準器	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	AF 時の距離指標	✔	✔	✔	✔	✔		
	MF 時の距離指標	✔	✔	✔	✔	✔		
	ヒストグラム	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	絞り / シャッター速度 / ISO	✔	✔	✔	✔	✔		
	露出補正バー	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	測光	✔	✔	✔	✔	✔		
	フラッシュ	✔	✔	✔	✔	✔		
	ホワイトバランス	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	フィルム シミュレーション	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	ダイナミックレンジ	✔	✔	✔	✔	✔		
	撮影可能枚数	✔	✔	✔	✔	✔		
	バッテリー残量表示	✔	✔	✔	✔	✔		✔
	画像サイズ & 画質モード	✔	✔	✔	✔	✔		
フラッシュモード		✔	✔	✔	✔	✔		
フラッシュ		✔	✔	✔	✔	✔		
AF 補助光		✔	✔	✔	✔	✔	✔	
赤目補正		✔	✔	✔	✔			
フォーカスリング		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
パワーセーブモード		✔	✔	✔	✔	✔		
クイック起動		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
色空間		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[6]

1 **OFF** 固定。
2 （マルチ）固定。
3 **S** を選んでも、**C** で動作します。
4 **S** 固定。
5 AF エリアは画面中央に固定されます。
6 各モードで自動的に設定されます。
7 撮影モードにより、選択できるモードが異なります。

資料

主な仕様

システム	
型番	X-Pro1
有効画素数	1630万画素
撮像素子	23.6mm × 15.6mm（APS-C サイズ）正方画素 CMOS 原色フィルター採用
記録メディア	• SD/SDHC/SDXC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**： DCF 準拠 **圧縮**：Exif Ver.2.3　JPEG 準拠 /DPOF 対応 **非圧縮**：RAW（RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要）、RAW+JPG 記録あり • **動画**：H.264 規格準拠（MOV）、ステレオ音声付き
記録画素数	• **L 3:2**（4896 × 3264）　• **L 16:9**（4896 × 2760）　• **L 1:1**（3264 × 3264） • **M 3:2**（3456 × 2304）　• **M 16:9**（3456 × 1944）　• **M 1:1**（2304 × 2304） • **S 3:2**（2496 × 1664）　• **S 16:9**（2496 × 1408）　• **S 1:1**（1664 × 1664） • **ぐるっとパノラマ L**（7680 × 2160；縦）、（7680×1440；横） • **ぐるっとパノラマ M**（5120 × 2160；縦）、（5120×1440；横）
レンズマウント	FUJIFILM X マウント
撮影感度	ISO 200 ～ 6400（⅓段ステップ）　AUTO (400)/AUTO (800)/AUTO (1600)/AUTO (3200) ISO 100/12800/25600 は拡張モード
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラム AE、シャッター優先 AE、絞り優先 AE、マニュアル露出
露出補正	－2EV ～ +2EV（⅓EV ステップ）
シャッタースピード（メカニカルシャッター併用）	• ¼ 秒～ 1/4000 秒（**P**） • 30 秒～ 1/4000 秒（全モード合わせて） • タイム（30 秒～ 2 秒） • バルブ（最長 60 分）

資料

システム	
連写	約６コマ / 秒、約３コマ / 秒（fps）
フォーカス	• **モード**：エリア選択 AF/ オートエリア AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス（リング回転式） • **AF 方式**：TTL コントラスト AF（AF 補助光付き） • **AF フレーム**：コンティニュアス AF（EVF/LCD：7×7 の 49 エリア選択、OVF：5×5 の 25 エリア選択）、フォーカス枠サイズ可変
ホワイトバランス	AUTO/ カスタム / 色温度（ケルビン値）設定 / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球 / 水中）
セルフタイマー	OFF、２秒、１０秒
フラッシュ発光モード	別売の TTL フラッシュ（クリップオンタイプ）時に設定可能 • **赤目補正 OFF 時**：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ / 後幕シンクロ • **赤目補正 ON 時**：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減＋強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減＋スローシンクロ / 赤目軽減＋後幕シンクロ
アクセサリーシュー	あり
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード 1/180 秒以下
ハイブリッドビューファインダー	• **光学ファインダー**：電子式ブライトフレームファインダー（逆ガリレオ式）、撮影範囲フレーム視野率 約 90％、ファインダー倍率 約 0.37 倍 / 約 0.6 倍 • **電子ビューファインダー**：0.47 型カラー液晶ファインダー、約 144 万ドット（視野率 約 100％） - アイポイント：約 14mm
液晶モニター（LCD）	3.0 型 RGBW（ホワイト）カラー液晶モニター、約 123 万ドット（視野率 約 100％）
動画	FULL HD（1920 × 1080：1080p）HD/（1280×720：720p）、24 フレーム / 秒、音声付き（ステレオ）、連続最大 29 分まで

入出力端子	
HDMI 出力	HDMI Mini Connector
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-W126（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安	・ **バッテリーの種類：NP-W126** ・ **撮影枚数：約 300 枚** CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	139.5 mm × 81.8 mm × 42.5（34.1*）mm（幅 × 高さ × 奥行き） * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
撮影時質量	約 450 g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
本体質量	約 400 g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
動作環境	**温度**：0℃～＋ 40℃ **湿度**：10 ～ 80％（結露しないこと）

バッテリー NP-W126	
公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃〜+ 40℃
本体外形寸法（幅×高さ×厚み）	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

バッテリーチャージャー BC-W126	
定格入力	AC 100V 〜 240V　50/60Hz
入力容量	13 − 21VA
定格出力	DC 8.4V　0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126
充電時間	約 150 分（+20℃において）
使用温度	5℃〜+ 40℃
外形寸法（幅×高さ×厚み）	65mm × 91.5mm × 28mm（突起物を除く）
質量	約 77g（本体のみ）

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

① 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

[アイコン]
（拡大）ボタン、71, 72
（縮小）ボタン、71, 72
（再生）ボタン、69, 93
（消去）ボタン、69

PROVIA/ スタンダード、64
Velvia/ ビビッド、64
ASTIA/ ソフト、64
PRO Neg. H/ プロネガ H、64
PRO Neg. S/ プロネガ S、64
モノクロ、64
モノクロ +R フィルター、64
モノクロ +Ye フィルター、64
モノクロ +G フィルター、64
セピア、64

（赤目軽減オートフラッシュ）、68
（赤目軽減＋強制発光フラッシュ）、68
（赤目軽減＋スローシンクロ）、68
（赤目軽減＋後幕シンクロ）、68
（強制発光）、67
（スローシンクロ）、67
（後幕シンクロ）、67
（発光禁止）、67

!AF（AF 警告）、40, 136
（撮影時のボタンロック）、13
（手ブレ警告）、136
（フラッシュ発光警告）、67
（プレゼント）、69
（マナーモード）、102

[A ～ Z]
AE/AF-LOCK 機能選択、56, 91
AE/AF-LOCK 設定、91
AE/AF ロック、55
AE 選択ボタン、62
AE ブラケティング、46, 47
AE ロック、55
AFL/AEL（AF ロック /AE ロック）ボタン、56, 57, 91
AF エリア、59
AF エリア選択、59
AF エリアポイント、59, 70
AF（オートフォーカス）、40, 55, 56
AF 警告、40, 136
AF 選択ボタン、59
AF 補助光、40, 91
AF モード、88
AF ロック、55
C（コンティニュアス AF）、57
DISP/BACK（表示 / 戻る）ボタン、30
DPOF 指定、119
DRIVE（ドライブ）ボタン、45, 46, 49, 51
EVF/LCD 表示、28
EVF（電子ビューファインダー）、16, 28, 29, 30
FACEBOOK、98
FinePixViewer、111
Fn（ファンクション）ボタン、63
HDMI、106, 122, 140
HDMI ケーブル、106, 122
Image Capture、112
ISO 感度、61
ISO ブラケティング、46, 47
LCD（液晶モニター）、17, 29, 30
MACRO（マクロ）ボタン、41
MENU/OK ボタン、13, 84, 93, 100
mixi、98
MyFinePix Studio、108
M（マニュアルフォーカス）、57
ON/OFF（電源）レバー、26
OVF/EVF（ハイブリッドビューファインダー）、, 29
OVF（光学ファインダー）、15, 28, 29, 30
PictBridge（ピクトブリッジ）、115
Q ボタン、14
RAW 画像、66, 82
RAW 現像、82
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、23, 25, 144
S（シングル AF）、57
USB 接続、113, 115, 122
VIEW MODE ボタン、28
WB シフト、42, 44
YouTube、98

[あ]
アイセンサー、28
赤目補正、68, 92, 68
明るさ（画面）、102
明るさ（露出補正）、39
アップロード先設定、98
アフターサービス（修理）、152
アベレージ（測光）、62
アンインストール（ソフトウェア）、110, 113

色温度、44
色空間、104
インジケーターランプ、13
インストール（ソフトウェア）、108, 111
液晶モニター（LCD）、17, 28, 29, 30
エリア選択（AF モード）、59, 88
オートエリア（AF モード）、88
オートパワーオフ（自動電源 OFF）、103
オートフォーカス（AF）、40, 55, 56
オートフラッシュ、67
お店プリント、118
音量（再生音量）、99
音量（操作音量）、103
音量（動画）、73

[か]
海外で使うとき、22, 127
外部フラッシュ、67, 121
画質モード、86
カスタム設定、65
カスタムホワイトバランス、42, 43
画像回転、96
画像サイズ、85
画面のカスタマイズ、30, 90
画面（明るさの調整）、102
画面（表示の切り換え）、28, 29, 30, 70, 72
カラー、87
感度、61
距離指標、58
距離指標の単位、105
切り抜き（トリミング）、94
記録画素数、144
クイック起動、32
ぐるっとパノラマモード、49
言語設定、27, 101
光学ファインダー（OVF）、15, 28, 29, 30
工場出荷設定、85
コマ NO.（コマナンバー）、102
コマンドダイヤル、12
コンティニュアス AF（C）、57

[さ]
再生音量、99
再生ズーム、71
再生メニュー、93
再生モード、69
撮影ガイド表示、105
撮影画像表示、104
撮影可能枚数、141
撮影時の情報、70
撮影メニュー、84
視差（パララックス）、29
自動起動設定（ソフトウェア）、109, 112
自動電源 OFF（オートパワーオフ）、103
視度補正レンズ、2, 15, 121
絞り優先 AE、36
シャープネス、87
シャッタースピード、34, 35, 37
シャッタースピード優先 AE、35
シャッターボタン、40
シャドウトーン、87
修理、152
消去、69, 79
初期化（フォーマット）、105
シングル AF（S）、57
シンクロターミナル、68
水準器、90
ストラップ、18
スポット（測光）、62
スライドショー、97
スローシンクロ、67
静止画撮影、34, 35, 36, 37
世界時計、101
セットアップメニュー、100
セルフタイマー、53
全押し、40
操作音量、103
測光、62

[た]
ダイナミックレンジ、86
ダイナミックレンジブラケティング、46, 47
タイム撮影、38
ダイヤルロックボタン、35, 37
長秒時ノイズ低減、38, 87
デジカメプリント、118, 119
手ブレ警告、136
テレビ接続、106
電源、26
電子水準器、90
電子ビューファインダー（EVF）、16, 28, 29, 30
動画再生、73
動画撮影、51
動画の設定、52
動作環境（ソフトウェア）、108, 111
トリミング、94

資料

[な]
日時設定、27, 101
ノイズリダクション、87

[は]
配色設定、105
ハイビジョン動画、51
ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF）、28, 29, 145
ハイライトトーン、87
パソコン接続、108
発光禁止、67
バッテリー、2, 21, 23, 121
バッテリー残量表示、26
パノラマ再生、77
パノラマ撮影、49
パノラマプリント、118
パララックス（視差）、29
バルブ撮影、38
パワーコントロールシステム、32
半押し、40
ピクチャーサーチ、74
ピクトブリッジ、115
ヒストグラム表示、31
日付あり設定（プリント予約）、119
日付ありプリント（PictBridge）、116
表示比率（HDMI）、99
ピント、40
ファンクションボタン、63
フィルムシミュレーション、64
フィルムシミュレーションブラケティング、46, 47
フォーカスチェック、58
フォーカスモード、57
フォーカスリング、58, 102
フォーマット（初期化）、105
フォトブックアシスト、75
付属品、2
ブラケティング撮影、46
フラッシュ、67
フラッシュ（発光量）、92
プリント予約（DPOF）、119
フレーミングガイド、91
プレゼント、69
プログラム AE、34
プログラムシフト、34
プロテクト、95
別売アクセサリー、121
ヘルプ（ソフトウェア）、114
補正前画像記録、92
ホワイトバランス、42, 87, 140

[ま〜や]
マイクロサムネイル、72
マクロ撮影、41
マナーモード、102
マニュアルフォーカス（M）、57
マニュアル露出、37
マルチ再生、72
マルチ（測光）、62
メモリーカード、24, 25, 141
モニター明るさ、102

[ら〜わ]
リサイズ、95
リセット、101
連写、45
レンズ着脱ボタン、20
露出インジケーター、37
露出補正、39
露出補正バー、39

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 **お問い合わせの前にお確かめください。**
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 **富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ**
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html をご覧ください。

3 **巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット：
  http://repairIt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：050-3786-1020
  ※受付時間：月〜土 9:00 〜 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ファクス：050-3786-2040
  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急修理サービス

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html をご覧ください。
- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。
※ 下表の □ は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所	〒　　　　　ー		
製品名（型名）		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	NO.
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー □（　　　　）□（　　　　） □（　　　　）□（　　　　）		
見積	□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ FAX		
故障症状 （故障時の様子）			
ご購入時期	20　　年　　月　　※保証書を添付してください。		
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況　発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）		
発生状況　動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると		
発生状況　他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　　）		
発生状況　使用電源			

FUJIFILM　　富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…　※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL **050-3786-1060** ご利用いただけない場合は **0228-30-2992**
月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00
FAX **050-3786-2060** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…　※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ **修理サービスQ&A**	修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
■ **修理納期検索サービス**	東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
■ **FinePix修理概算見積サービス**	当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。 http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…　※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ **修理のご相談受付窓口**
富士フイルム修理サービスセンター TEL **050-3786-1040** 月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前 9：00 ～ 午後 5：40 土曜日 午前10：00 ～ 午後 5：00
FAX **050-3786-2040** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ **修理品ご送付受付窓口**
富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前 9：30 ～ 午後 5：00）TEL 03-5786-1712